

第1章 本市の概況と住宅事情

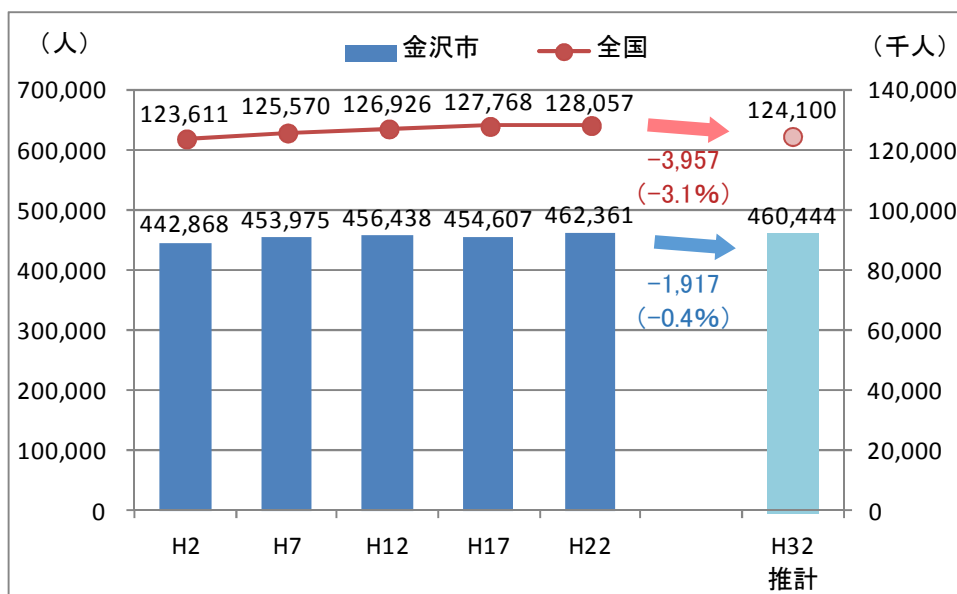
1. 本市の概況

(1) 人口

①総人口

- ・平成22年現在における金沢市の人口は46.2万人となっており、石川県の人口（117.0万人）の39.5%を占めています。
- ・人口推移をみると、平成17年までは横ばい状態で推移してきましたが、平成22年において微増に転じており（対5年前比増減率+1.7%）、直近5年間では全国を増減率を上回っています（対5年前比増減率+0.2%）。
- ・国立社会保障・人口問題研究所による全国の市町村人口推計によると、本計画の目標年次（平成32年）における本市の推計人口は約46.0万人（対22年比増減率-0.4%）とほぼ横ばいであり、全国に比べ緩やかな減少となっています（対22年比増減率-3.1%）。

【金沢市、全国の総人口の推移】



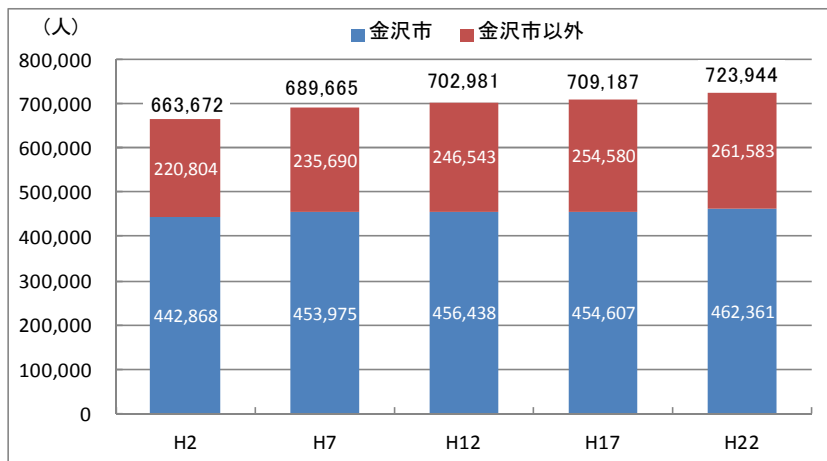
出典：国勢調査（H2-H22）、国立社会保障・人口問題研究所（H32）

②生活圏の人口

- ・本市の周辺市町のうち、本市への通勤・通学者率が 20%を超える圏域を「生活圏^{※1}」として捉えたとき、平成 22 年における生活圏の人口は 72.4 万人、平成 22 年における対 5 年前比増減率は+2.1%となっています。なお、金沢市以外の対 5 年前比増減率は+2.8%となっています。

※1：金沢市、川北町、白山市の一部(旧松任市、旧美川町、旧鶴来町、旧河内村)、野々市市、津幡町、かほく市、内灘町

【生活圏の人口の推移】



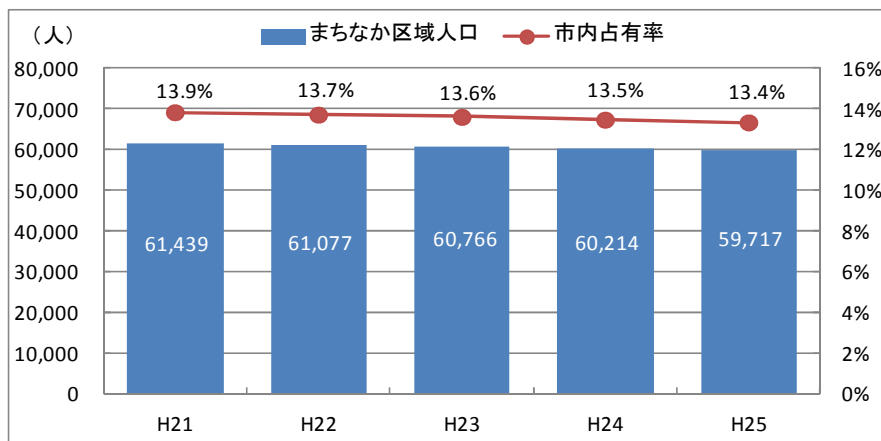
出典：国勢調査

③まちなか区域の人口

- ・平成 25 年 1 月現在におけるまちなか区域^{※2}の人口は約 6.0 万人となっており、総人口の 13.4%を占めています。
- ・人口推移をみると、減少傾向が続いており、平成 25 年における対前年比増減率は -0.8%となっています。

※2：中心市街地を基本に、近世城下町の都市構造を基盤としており、犀川、浅野川、JR 北陸本線、中環状道路に囲まれた区域と、犀川以南、浅野川以北の旧市街地から構成される区域。

【まちなか区域の人口推移】

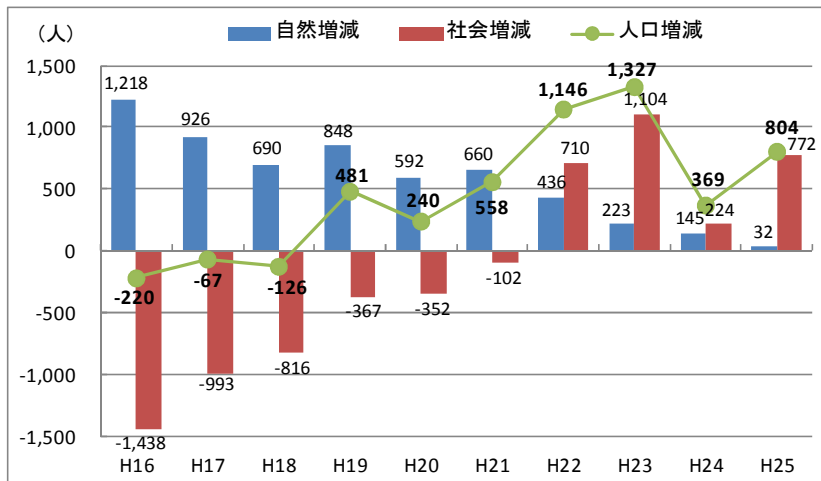


出典：住民基本台帳(各年 1 月)

④人口動態

- ・本市全体の社会動態は、平成16年から転出超過が縮小しており、平成22年以降では転入超過に転じています。
- ・平成23年における県内他市町との社会移動（転入・転出）をみると、大半の市町から転入超過となっていますが、特に野々市市は転出超過（-256人）となっています。
- ・まちなか区域においては、自然増減は平成16年以降毎年300～500人減少しており、社会増減は平成16年で約900人の減少と過去10年間で最も大きいものの、それ以降減少傾向は縮小しており、近年では増加の年も見られます。

【金沢市の人口動態】



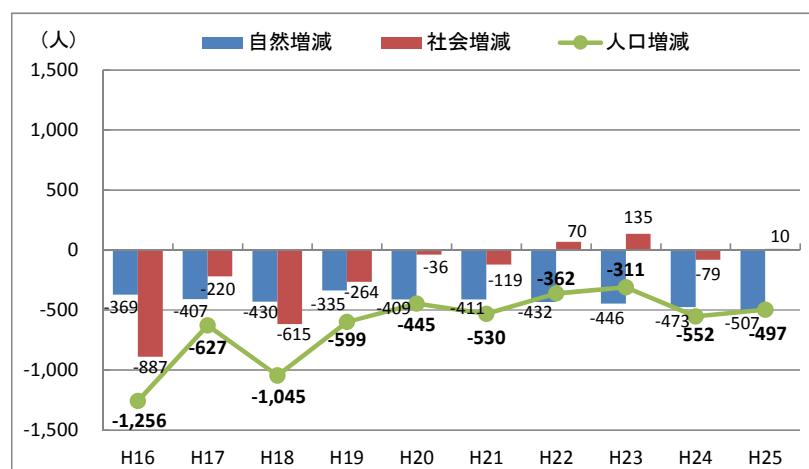
【他市町との転入・転出状況】

	転入	転出	社会増減
七尾市	329	198	131
輪島市	206	105	101
能登町	153	69	84
小松市	367	304	63
珠洲市	117	58	59
加賀市	246	188	58
志賀町	115	76	39
羽咋市	119	85	34
宝達志水町	88	54	34
かほく市	252	223	29
中能登町	62	33	29
穴水町	76	55	21
能美市	244	232	12
川北町	21	31	▲ 10
白山市	866	893	▲ 27
津幡町	334	379	▲ 45
内灘町	372	457	▲ 85
野々市市	924	1,180	▲ 256
計	4,891	4,620	271

出典：住民基本台帳(各年1月)

出典：金沢市統計書(H23年度)

【まちなか区域の人口動態】



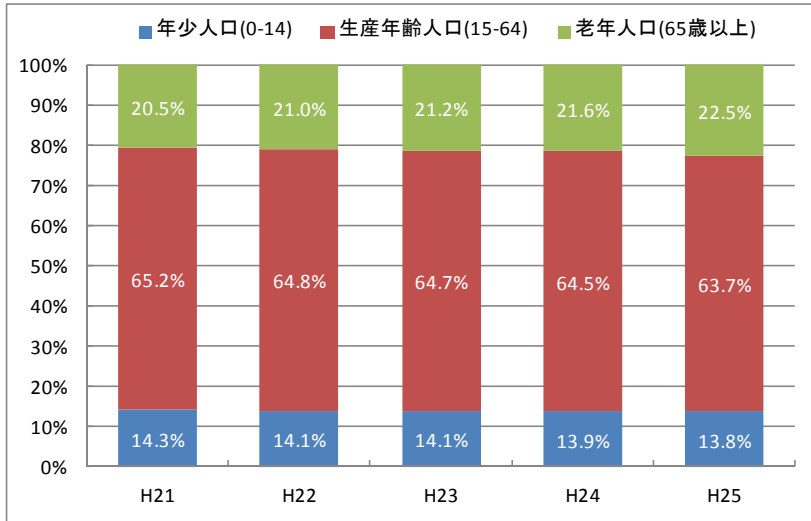
出典：住民基本台帳(各年1月)

⑤年齢別人口

<年齢3区分別人口>

- 平成 25 年現在の年齢 3 区分別人口構成をみると、65 歳以上の老年人口比率が 22.5%、15 歳未満の年少人口比率が 13.8%となっており、少子高齢化が着実に進行しています。

【年齢3区分別人口】



※H25 は外国人を含む値 (4,585 人)

※四捨五入により積み上げ値の合計が 100%にならない場合があります (以下共通)

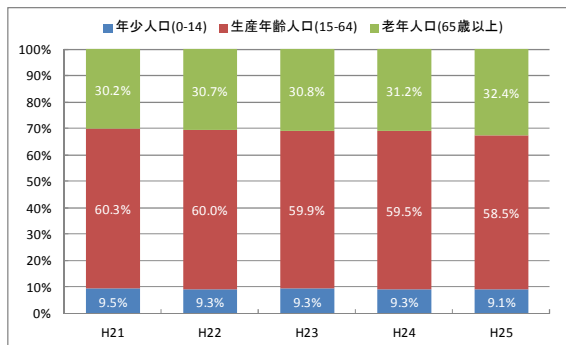
出典：住民基本台帳(各年 1 月)

<まちなか区域内外の年齢3区分別人口>

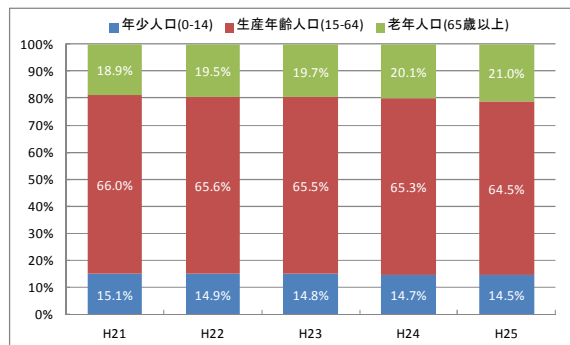
- まちなか区域における平成 25 年 1 月現在の年齢 3 区分別人口構成をみると、65 歳以上の老年人口比率が 32.4%となっており、超高齢社会^{注)}となっています。
- まちなか区域外では、まちなか区域に比べて少子高齢化の進行が顕著ではないものの、少しずつ高齢化率が高まっています。

注) 高齢化率が 7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%を超えた社会を「高齢社会」、21%を超えた社会を「超高齢社会」と呼びます。

【まちなか区域】



【まちなか区域外】



※まちなか区域外は市全体とまちなか区域の差分により算出しているため H25 は外国人を含む値

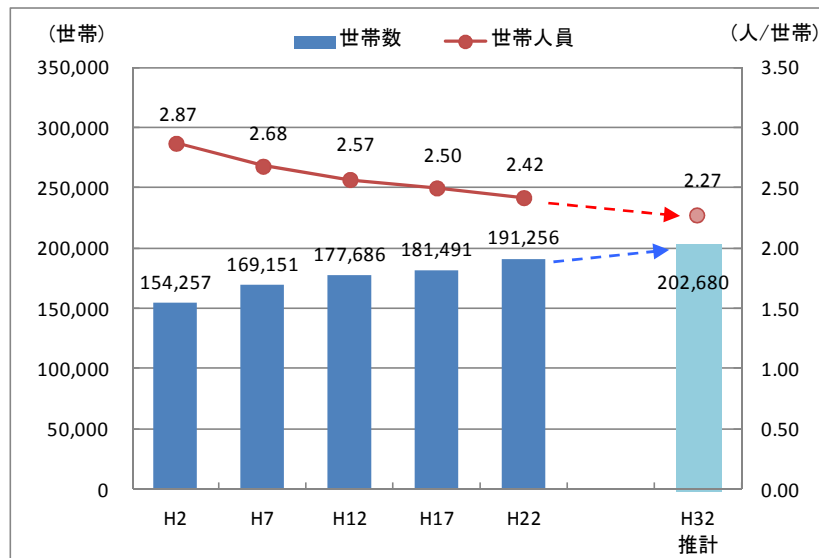
出典：住民基本台帳(各年 1 月)

(2) 世帯数

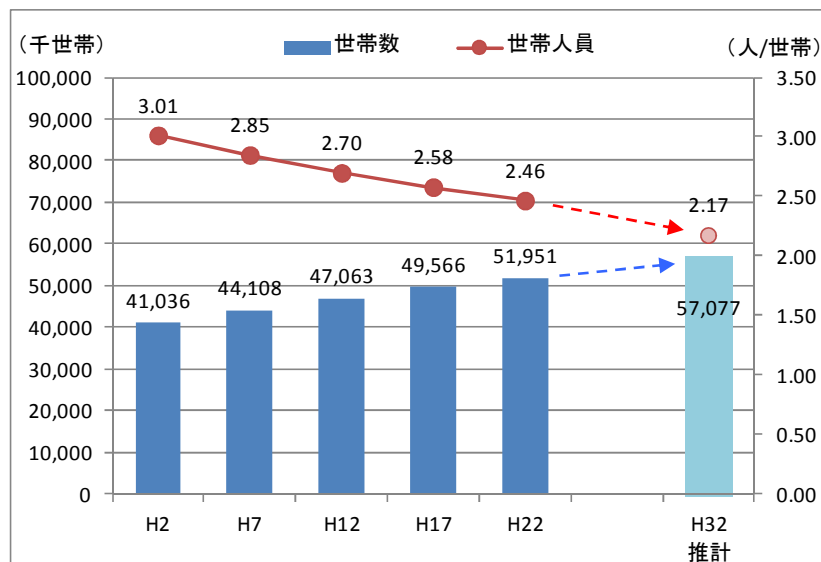
①世帯数の推移

- ・本市の世帯数は着実に増加しており、平成 22 年現在において 19.1 万世帯、平均世帯人員は 2.42 人/世帯となっており、全国平均 (2.46 人/世帯) とほぼ同じ値となっています。
- ・なお、将来の 1 世帯あたり人員を過去の実績値からトレンド法(ルート回帰)を用いて推計すると、本計画の目標年次(平成 32 年)における 1 世帯当たり人員は 2.27 人/世帯となり、世帯数は約 202.7 千世帯と推計されます。トレンド法(直線回帰)を用いて推計した全国平均は平成 32 年で 1 世帯当たり人員が 2.17 人/世帯となり、本市と比べて減少が大きくなると推計されます。

【金沢市の世帯数および世帯人員の推移】



【全国の世帯数および世帯人員の推移】



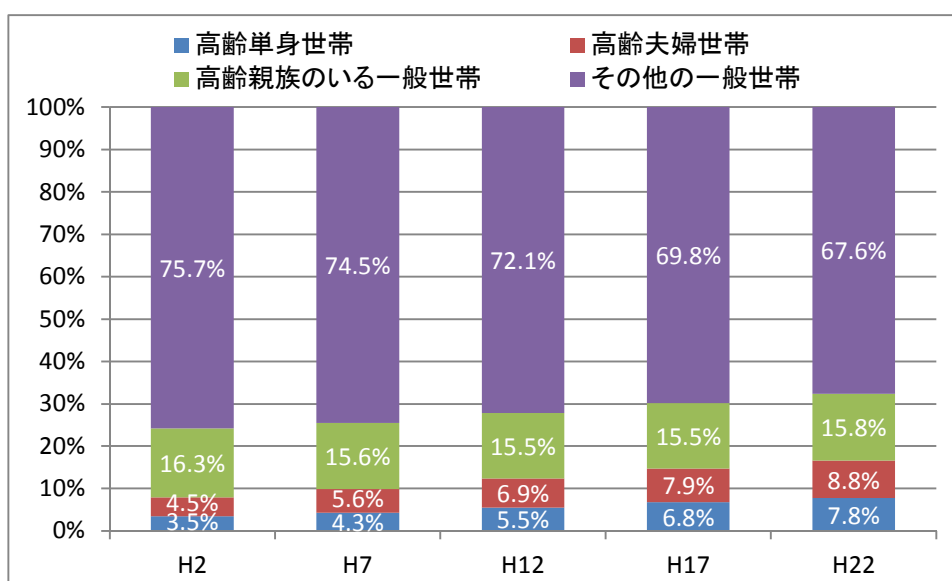
出典：国勢調査

②高齢者を含む世帯(高齢単身世帯、高齢夫婦世帯、高齢親族のいる世帯)

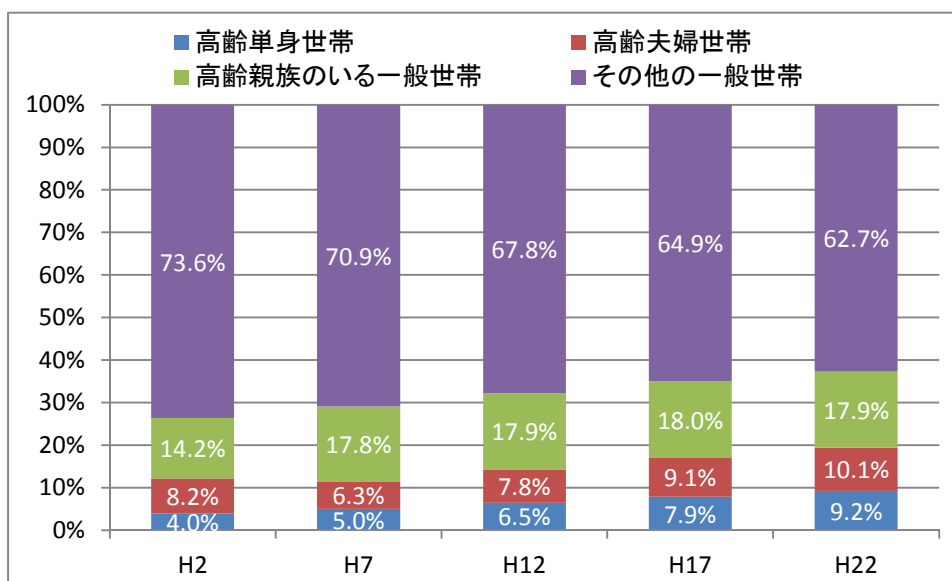
- ・平成22年現在、本市の一般世帯(190,871世帯)のうち、32.4%の世帯が高齢者を含んでいますが、全国平均(37.2%)と比べ低い割合となっています。
- ・高齢者を含む世帯のうち、高齢単身世帯は7.8%(14,813世帯)、高齢夫婦世帯は8.8%(16,834世帯)となっており、高齢者を含む世帯の51.2%を占めています。なお、全国平均に比べ、高齢単身世帯(9.2%)、高齢夫婦世帯(10.1%)ともに低い割合となっています。

※高齢単身世帯とは、65歳以上の者一人のみの一般世帯のことをいいます。
 高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組の一般世帯のことをいいます。

【高齢者を含む世帯数の内訳(金沢市)】



【高齢者を含む世帯数の内訳(全国)】



出典：国勢調査

②景観計画

- ・伝統環境保存区域は、主に市内中心部に分布しており、その他に、金石町・大野町地域、森本・花園地域、二俣・田島地域、湯涌温泉街地域があります。
- ・寺社風景保全区域としては、小立野寺院群、寺町寺院群があり、近代的都市景観創出区域は、金沢駅周辺～香林坊・片町を中心に指定されています。
- ・こまちなみ保存区域は、市内中心部および金石・大野町で指定されています。

【景観計画区域の指定状況】

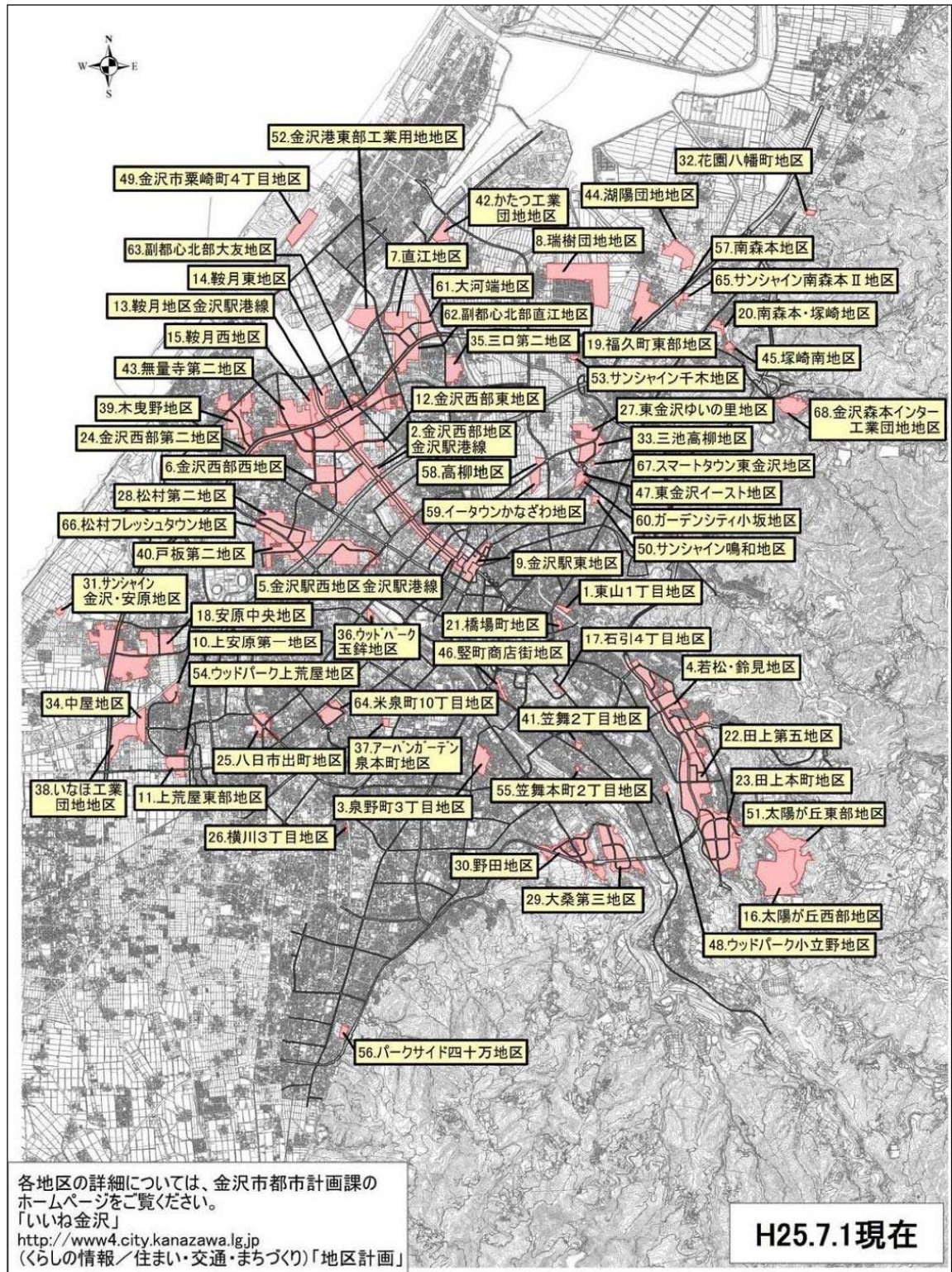


..... : 旧城下町区域

③地区計画・まちづくり協定

- ・地区計画の区域は東部地区、駅西地区、西部地区に多く分布しています。市内中心部では対象範囲の狭いまちづくり協定が多く、北西部には比較的広い対象範囲を有するまちづくり協定が締結されています。

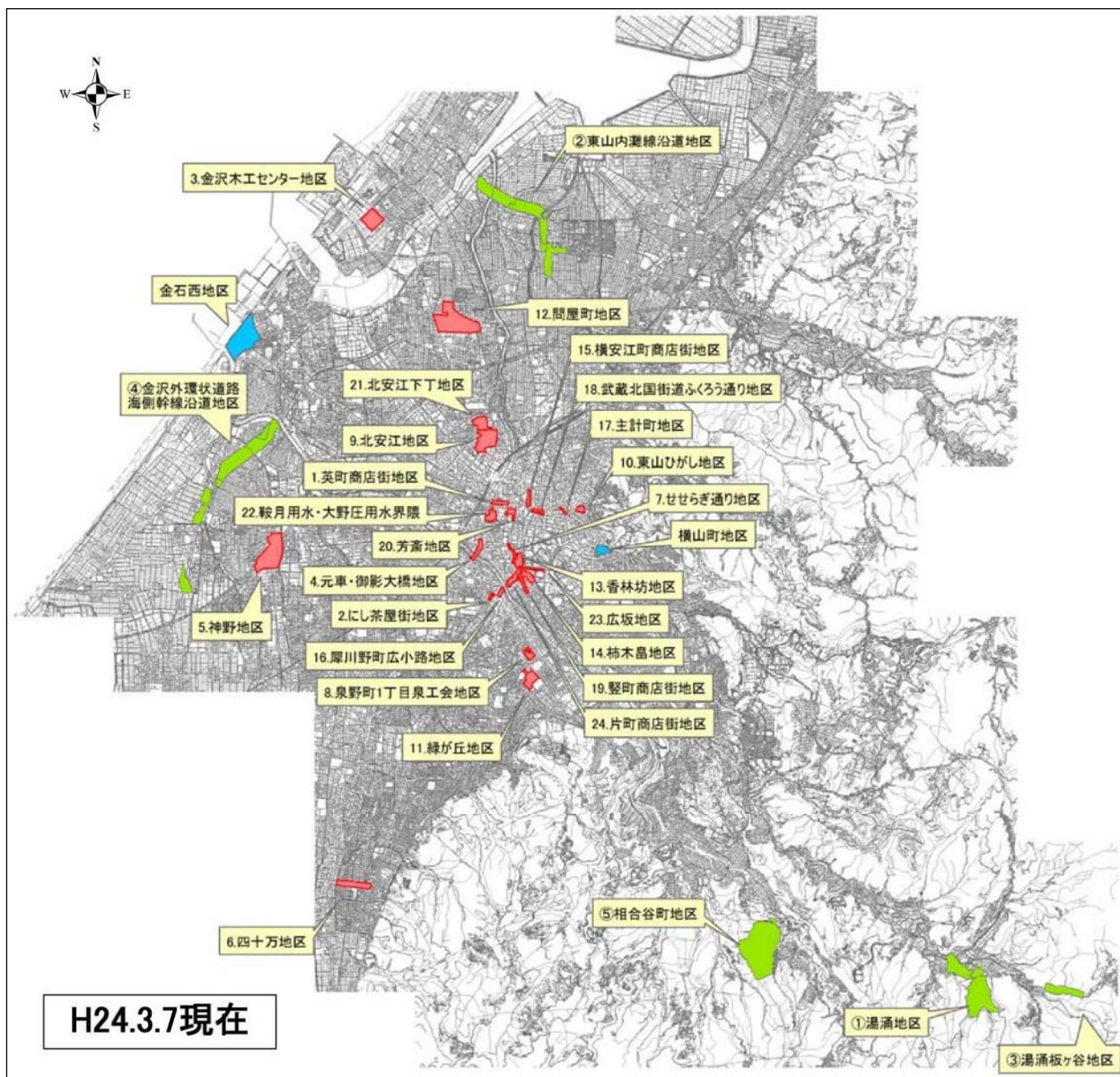
【地区計画位置図】



※詳細は金沢市 HP をご覧ください。

出典：金沢市都市計画課 HP

【まちづくり協定位置図】



※詳細は金沢市 HP をご覧ください。

出典：金沢市都市計画課 HP

【地区計画・まちづくり協定一覧】

地区計画地区の名称		区域面積	地区計画地区の名称		区域面積
1	東山1丁目地区	1.9ha	36	ウッドパーク玉銚地区	1.3ha
2	金沢西部地区 金沢駅港線	15.6ha	37	アバンガード泉本町地区	1.2ha
3	泉野町3丁目地区	9.3ha	38	いなほ工業団地地区	15ha
4	金沢市若松・鈴見地区	64.5ha	39	木曳野地区	24.1ha
5	金沢駅西地区 金沢駅港線	39.7ha	40	戸板第二地区	49.4ha
6	金沢西部西地区	34.8ha	41	笠舞2丁目地区	1.1ha
7	直江地区	7.7ha	42	かたつ工業団地地区	6.5ha
8	瑞樹団地地区	40.3ha	43	無量寺第二地区	19.0ha
9	金沢駅東地区	13.8ha	44	湖陽団地地区	12.9ha
10	上安原第一地区	5.8ha	45	塚崎南地区	1.6ha
11	上荒屋東部地区	9.2ha	46	堅町商店街地区	2.2ha
12	金沢西部東地区	2.2ha	47	東金沢イースト地区	3.2ha
13	鞍月地区 金沢駅港線	27.8ha	48	ウッドパーク小立野地区	1.1ha
14	鞍月東地区	23.4ha	49	金沢市粟崎町4丁目地区	11.9ha
15	鞍月西地区	24.1ha	50	サンシャイン鳴和地区	1.4ha
16	太陽が丘西部地区	41.3ha	51	太陽が丘東部地区	22.8ha
17	石引4丁目地区	1.3ha	52	金沢港東部工業用地地区	12.1ha
18	安原中央地区	71.8ha	53	サンシャイン千木地区	1.0ha
19	福久町東部地区	18.7ha	54	ウッドパーク上荒屋地区	0.6ha
20	南森本・塚崎地区（サンシャイン南森本）	3.3ha	55	笠舞本町2丁目地区	0.5ha
21	橋場町地区	1.4ha	56	パークサイド四十万地区	2.1ha
22	田上第五地区	43.6ha	57	南森本地区	2.0ha
23	田上本町地区	54.0ha	58	高柳地区	1.7ha
24	金沢西部第二地区	35.2ha	59	イータウンかなざわ地区	5.0ha
25	八日市出町地区	10.7ha	60	ガーデンシティ小坂地区	0.6ha
26	横川3丁目地区	0.4ha	61	大河端地区	16.6ha
27	東金沢ゆいの里地区	7.5ha	62	副都心北部直江地区	39.3ha
28	松村第二地区	27.6ha	63	副都心北部大友地区	10.7ha
29	大桑第三地区	30.2ha	64	米泉町10丁目地区	10.6ha
30	野田地区	28.7ha	65	サンシャイン南森本Ⅱ地区	1.0ha
31	サンシャイン金沢・安原地区	1.5ha	66	松村フレッシュタウン地区	2.3ha
32	花園八幡町地区	1.5ha	67	スマートタウン東金沢地区	0.5ha
33	三池高柳地区	14.3ha	68	金沢森本インター工業団地地区	11.0ha
34	中屋地区	6.4ha		合計	1,022ha
35	三口第二地区	10.2ha			

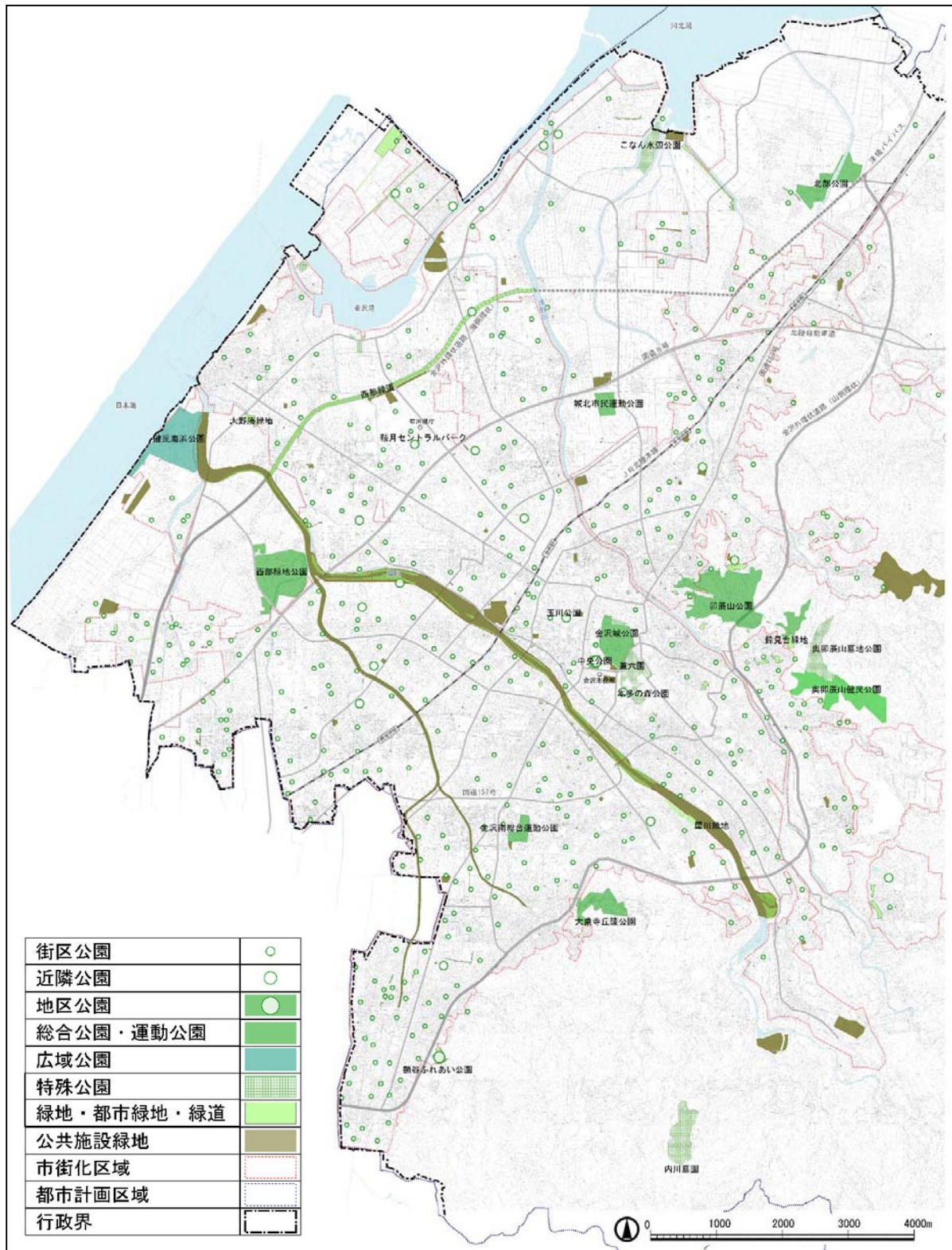
まちづくり協定地区の名称		区域面積	まちづくり協定地区の名称		区域面積
1	英町商店街地区	約1.1ha	14	柿木畠地区	約3.9ha
2	にし茶屋街地区	約0.7ha	15	横安江町商店街地区	約1.9ha
3	金沢木エセンター地区	約10.0ha	16	犀川野町広小路地区（瓶割坂通り）	約1.3ha
4	元車・御影大橋地区	約2.7ha	17	主計町地区	約0.6ha
5	神野地区	約26.3ha	18	武蔵北国街道ふくろう通り地区	約1.6ha
6	四十万地区	約7.5ha	19	堅町商店街地区	約2.2ha
7	せせらぎ通り地区	約1.6ha	20	芳齋地区	約2.3ha
8	泉野町1丁目泉工会地区	約2.9ha	21	北安江下丁地区	約6.3ha
9	北安江地区	約14.0ha	22	鞍月用水・大野庄用水境界	約3.9ha
10	東山ひがし地区	約1.8ha	23	広坂地区	約1.1ha
11	緑が丘地区	約6.8ha	24	片町商店街地区	約4.0ha
12	問屋町地区	約29.8ha		合計	約138.2ha
13	香林坊地区	約3.9ha			

出典：金沢市都市計画課 HP（H25.7.1現在）

④公園・緑地

- ・市内の都市公園・緑地等の整備状況は平成 25 年 4 月現在で 568 箇所、面積が 58 3.6ha となっており、住民 1 人当たりの都市公園等の面積は 12.96 m²（住民基本台帳人口 H25.4：450,360 人）となっています。

【都市公園等現況図】



※詳細は金沢市緑と花の課までお問い合わせください。

出典：金沢市緑の基本計画（H21）

【金沢市都市公園等の整備現況】

種類	種別	市立			県立			計		
		公園数	面積(ha)	備考	公園数	面積(ha)	備考	公園数	面積(ha)	
基 幹 公 園	住 区 基 幹 公 園	街区公園	437	101.8		-	-		437	101.8
		近隣公園	20	29.1	姉妹都市公園等	1	1.7	鞍月セントラルパーク	21	30.8
	地区公園	1	3.0	額谷ふれあい公園	1	3.3	中央公園	2	6.3	
	小計	458	133.9		2	5.0		460	138.9	
	都 市 基 幹 公 園	総合公園	2	67.3	卯辰山公園	3	22.4	金沢城公園	5	206.4
				22.5	大乘寺丘陵公園		71.3	奥卯辰山健民公園		
							22.9	北部公園		
		運動公園	2	8.0	金沢南総合運動公園	1	54.8	西部緑地公園	3	72.0
			9.2	金沢城北市民運動公園						
小計	4	107.0		4	171.4		8	278.4		
計		462	240.9		6	176.4		468	417.3	
特 殊 公 園	風致公園	1	1.4	※外濠公園	1	7.1	本多の森公園	2	8.5	
	歴史公園	-	-		1	11.4	兼六園	1	11.4	
	墓園	2	15.5	奥卯辰山墓地公園	-	-		2	23.0	
			7.5	内川墓地公園						
	動植物公園	1	9.9	こなん水辺公園				1	9.9	
計	4	34.3		2	18.5		6	52.8		
広場公園		5	0.4	片町広場等		-		5	0.4	
大規模公園 広域公園		-	-		1	47.1	健民海浜公園	1	47.1	
公園計		471	275.6		9	242.0		480	517.6	
緑地 都市緑地		80	21.0	彦三緑地等	2	37.6	犀川、大野湊	82	58.6	
緑道		6	7.4	西部緑道等	-	-		6	7.4	
合計		557	304		11	279.6		568	583.6	

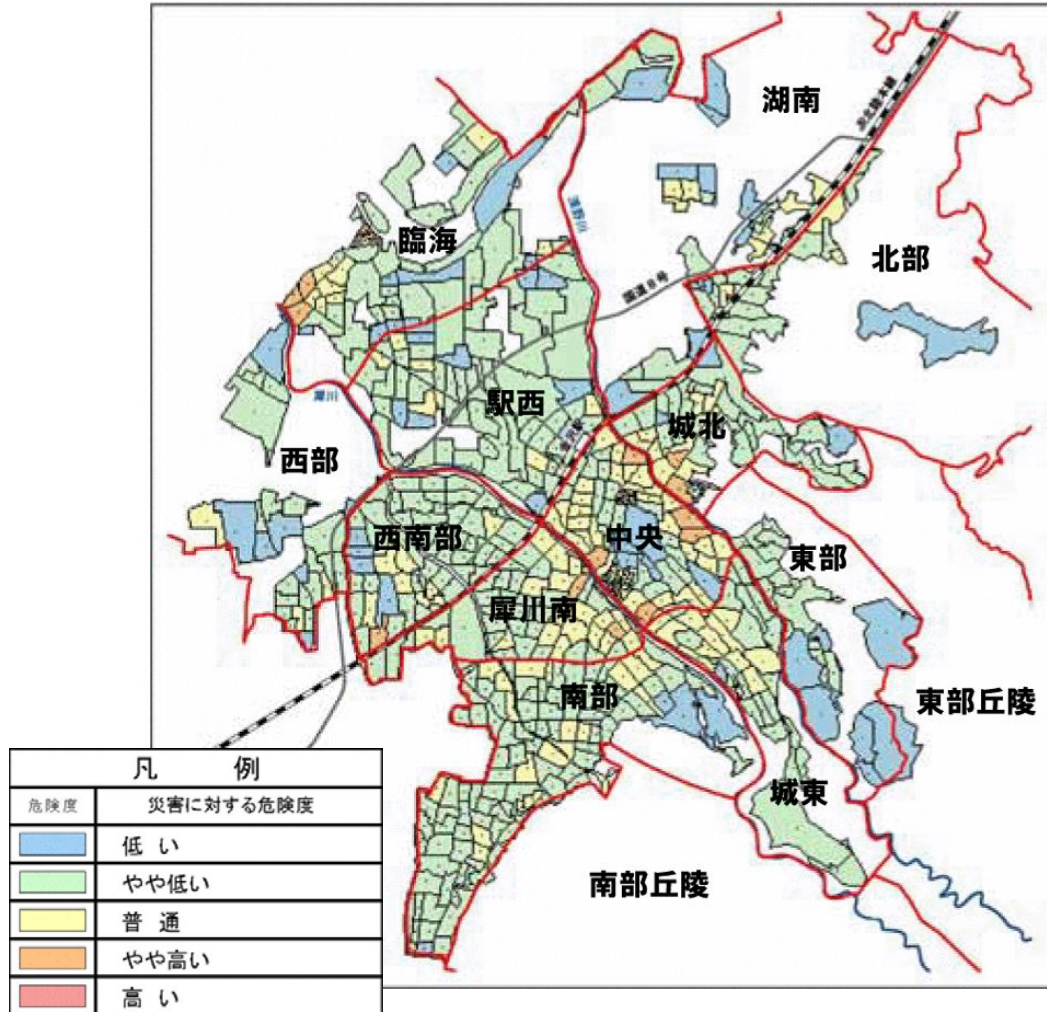
出典：金沢市資料（H25.4現在）

⑤地震による災害危険度

- ・市内には、地震による延焼の災害危険度の高い地区が点在しており、特に歴史的まちなみの残る密集木造住宅地において延焼が危惧されます。

【地震による災害危険度評価（延焼の危険性）】

延焼の危険性（不燃領域率・木造建ぺい率）から見た災害危険度評価



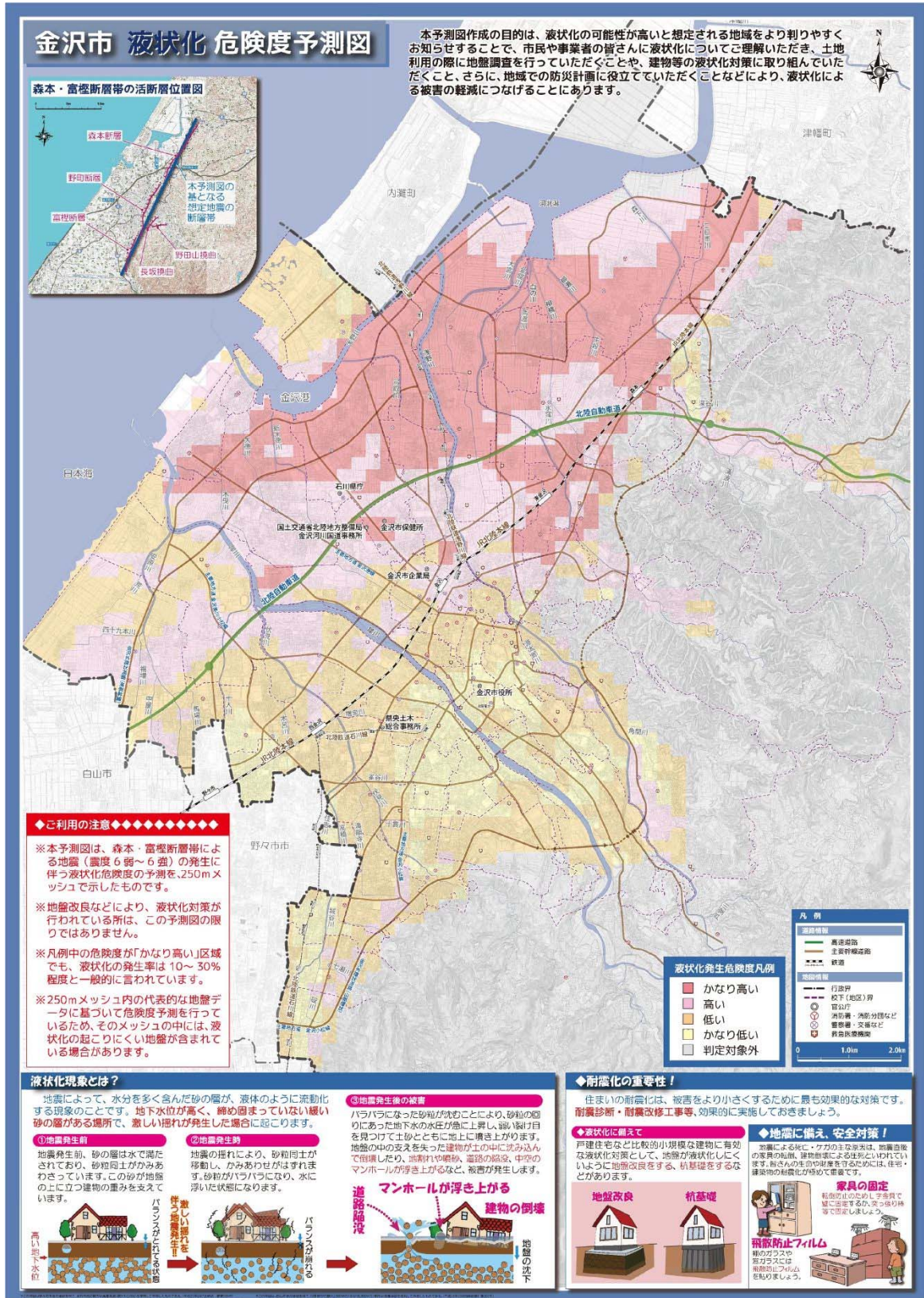
出典：金沢市市街地再生課「災害危険度判定調査」(H13.11)

※詳細は金沢市市街地再生課までお問い合わせください。

⑥地震による液状化予測

- 地震による液状化については、JR 北陸本線以北において液状化の発生危険度の高い地区が広範囲に見られます。

【液状化危険度予測図】



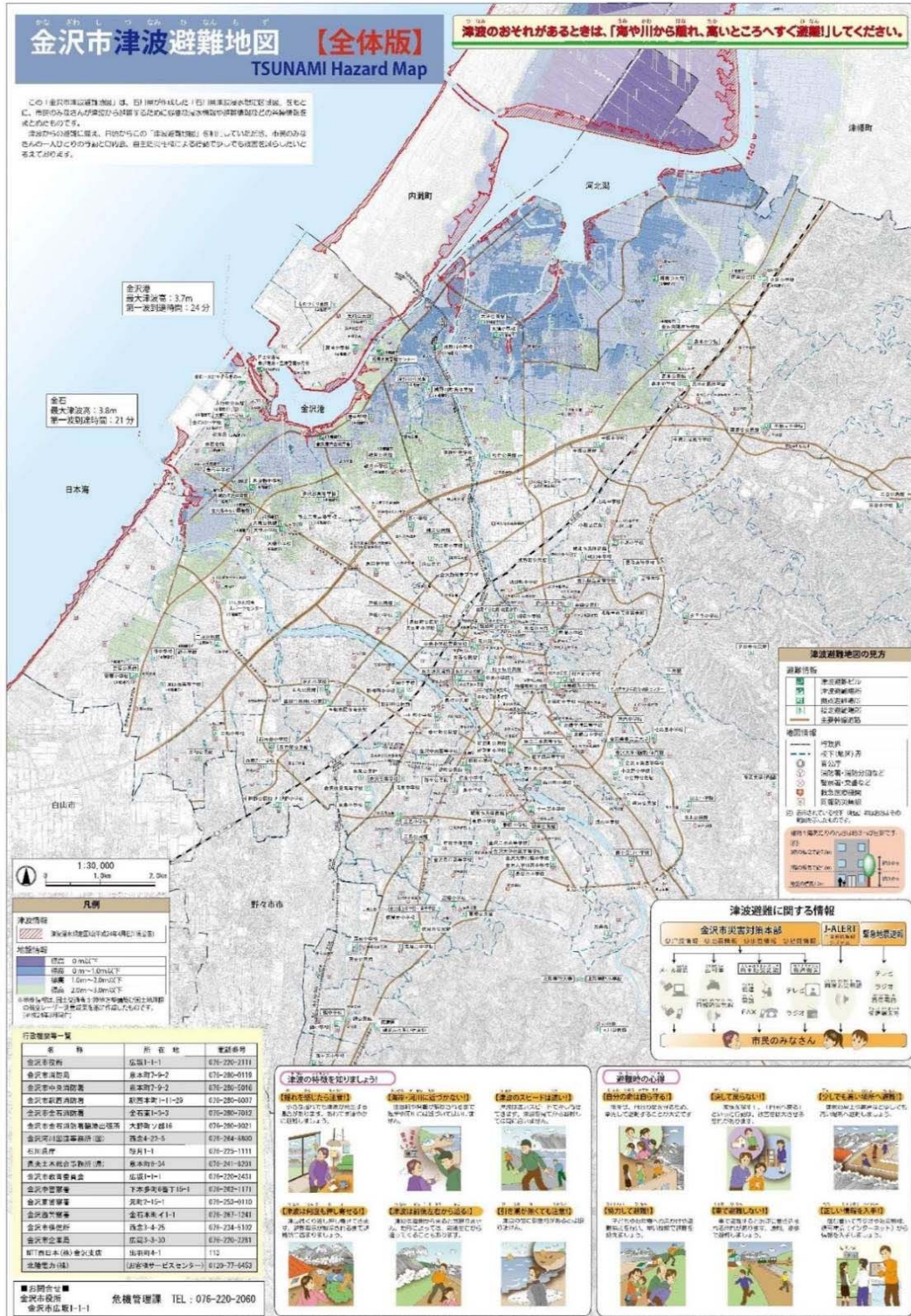
※詳細は金沢市 HP をご覧ください。

出典：金沢市危機管理課 HP (H22.3)

⑦津波災害危険箇所

- 津波災害については、海岸沿いや河北潟沿岸部、河口部を中心として津波浸水想定区域に指定されています。

【津波避難地図】



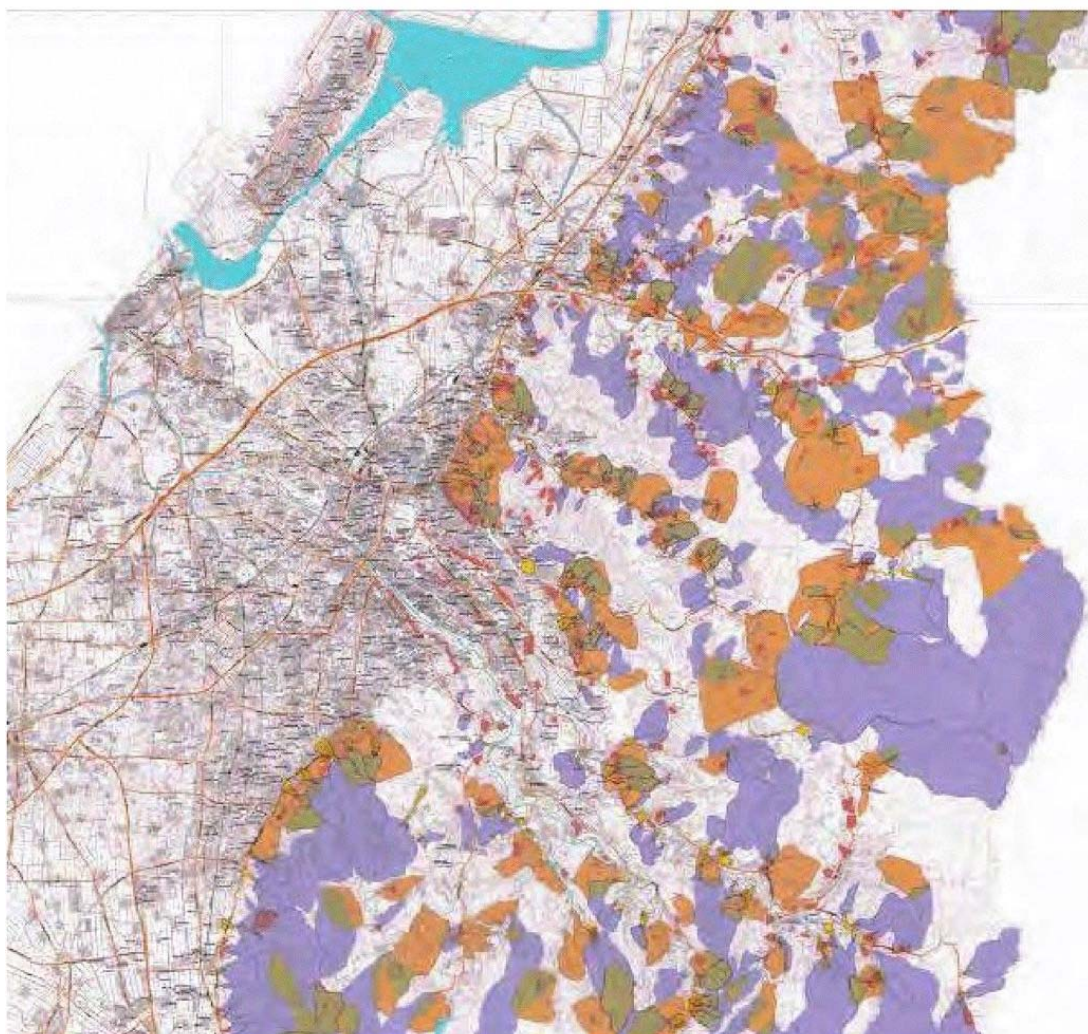
※詳細は金沢市 HP をご覧ください。

出典：金沢市危機管理課 HP (H24. 6)

⑧土砂災害危険箇所

- ・市内の山間部だけでなく、中心部も急傾斜地崩壊危険箇所や地すべり危険箇所に指定されています。これらの危険箇所については、平成 18 年から土砂災害防止法に基づいて、順次、土砂災害警戒区域、特別警戒区域にも指定されています。

【土砂災害危険箇所図】



凡		例	
砂防課所管			
	土石流危険渓流・区域 平成14年度公表		崩壊土砂流出危険地区 平成18年度公表
	急傾斜地崩壊危険箇所 平成14年度公表		山腹崩壊危険地区 平成18年度公表
	地すべり危険箇所 平成10年度公表		地すべり危険地区 平成18年度公表
農業基盤整備課所管			
	地すべり危険地区 地すべり防止区域 平成10年度公表		
避難施設・災害時要援護者施設			
	避難施設		
	災害時要援護者施設		

※詳細は金沢市 HP をご覧ください。

出典：金沢市まちづくり支援情報システム HP

⑨水害危険箇所

- ・水害の被害が想定される区域については、水防法に基づいて、以下のとおり浸水想定区域に順次指定されています。

- ・平成 17 年 6 月 20 日 犀川、浅野川
- ・平成 19 年 3 月 13 日 伏見川、高橋川
- ・平成 20 年 5 月 23 日 安原川、大野川・河北潟、金腐川、森下川

【金沢市洪水避難地図】

- この「金沢市洪水避難地図」は、石川県が作成した、大雨により河川がはん蓋した場合、浸水の可能性のあるエリアを示した「浸水想定区域図」をもとに、市民のみなさんが避難するために必要な浸水情報や避難情報などの各種情報をまとめたものです。
- 大雨の基準は、犀川・浅野川・大野川・河北潟は100年に一度、伏見川・高橋川・安原川・金腐川・森下川・津幡川は50年に一度を想定しています。
- 浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の変化、河川・下水道などの整備状況などにより変化することがあります。また、他の河川、水路や下水道などによる浸水を想定しておりませんので、この地図と異なる浸水が起こる場合があります。テレビ、ラジオなどからの情報に注意して下さい。
- 水害の恐れがあるときは、金沢市から避難準備情報、避難勧告、避難指示などを発表する場合があります。金沢市などの指示に従って速やかに避難しましょう。

洪水避難に関する情報の伝達

洪水避難地図の見方

避難情報

- 1 浸水想定区域
- 2 浸水想定区域外
- 3 浸水想定区域外
- 4 浸水想定区域外
- 5 浸水想定区域外
- 6 浸水想定区域外
- 7 浸水想定区域外
- 8 浸水想定区域外
- 9 浸水想定区域外
- 10 浸水想定区域外
- 11 浸水想定区域外
- 12 浸水想定区域外
- 13 浸水想定区域外
- 14 浸水想定区域外
- 15 浸水想定区域外
- 16 浸水想定区域外
- 17 浸水想定区域外
- 18 浸水想定区域外
- 19 浸水想定区域外
- 20 浸水想定区域外
- 21 浸水想定区域外
- 22 浸水想定区域外
- 23 浸水想定区域外
- 24 浸水想定区域外
- 25 浸水想定区域外
- 26 浸水想定区域外
- 27 浸水想定区域外
- 28 浸水想定区域外
- 29 浸水想定区域外
- 30 浸水想定区域外
- 31 浸水想定区域外
- 32 浸水想定区域外
- 33 浸水想定区域外
- 34 浸水想定区域外
- 35 浸水想定区域外
- 36 浸水想定区域外
- 37 浸水想定区域外
- 38 浸水想定区域外
- 39 浸水想定区域外
- 40 浸水想定区域外
- 41 浸水想定区域外
- 42 浸水想定区域外
- 43 浸水想定区域外
- 44 浸水想定区域外
- 45 浸水想定区域外
- 46 浸水想定区域外
- 47 浸水想定区域外
- 48 浸水想定区域外
- 49 浸水想定区域外
- 50 浸水想定区域外
- 51 浸水想定区域外
- 52 浸水想定区域外
- 53 浸水想定区域外
- 54 浸水想定区域外
- 55 浸水想定区域外
- 56 浸水想定区域外
- 57 浸水想定区域外
- 58 浸水想定区域外
- 59 浸水想定区域外
- 60 浸水想定区域外
- 61 浸水想定区域外
- 62 浸水想定区域外
- 63 浸水想定区域外
- 64 浸水想定区域外
- 65 浸水想定区域外
- 66 浸水想定区域外
- 67 浸水想定区域外
- 68 浸水想定区域外
- 69 浸水想定区域外
- 70 浸水想定区域外
- 71 浸水想定区域外
- 72 浸水想定区域外
- 73 浸水想定区域外
- 74 浸水想定区域外
- 75 浸水想定区域外
- 76 浸水想定区域外
- 77 浸水想定区域外
- 78 浸水想定区域外
- 79 浸水想定区域外
- 80 浸水想定区域外
- 81 浸水想定区域外
- 82 浸水想定区域外
- 83 浸水想定区域外
- 84 浸水想定区域外
- 85 浸水想定区域外
- 86 浸水想定区域外
- 87 浸水想定区域外
- 88 浸水想定区域外
- 89 浸水想定区域外
- 90 浸水想定区域外
- 91 浸水想定区域外
- 92 浸水想定区域外
- 93 浸水想定区域外
- 94 浸水想定区域外
- 95 浸水想定区域外
- 96 浸水想定区域外
- 97 浸水想定区域外
- 98 浸水想定区域外
- 99 浸水想定区域外
- 100 浸水想定区域外

避難情報上の危険箇所

- 1 浸水想定区域外
- 2 浸水想定区域外
- 3 浸水想定区域外
- 4 浸水想定区域外
- 5 浸水想定区域外
- 6 浸水想定区域外
- 7 浸水想定区域外
- 8 浸水想定区域外
- 9 浸水想定区域外
- 10 浸水想定区域外
- 11 浸水想定区域外
- 12 浸水想定区域外
- 13 浸水想定区域外
- 14 浸水想定区域外
- 15 浸水想定区域外
- 16 浸水想定区域外
- 17 浸水想定区域外
- 18 浸水想定区域外
- 19 浸水想定区域外
- 20 浸水想定区域外
- 21 浸水想定区域外
- 22 浸水想定区域外
- 23 浸水想定区域外
- 24 浸水想定区域外
- 25 浸水想定区域外
- 26 浸水想定区域外
- 27 浸水想定区域外
- 28 浸水想定区域外
- 29 浸水想定区域外
- 30 浸水想定区域外
- 31 浸水想定区域外
- 32 浸水想定区域外
- 33 浸水想定区域外
- 34 浸水想定区域外
- 35 浸水想定区域外
- 36 浸水想定区域外
- 37 浸水想定区域外
- 38 浸水想定区域外
- 39 浸水想定区域外
- 40 浸水想定区域外
- 41 浸水想定区域外
- 42 浸水想定区域外
- 43 浸水想定区域外
- 44 浸水想定区域外
- 45 浸水想定区域外
- 46 浸水想定区域外
- 47 浸水想定区域外
- 48 浸水想定区域外
- 49 浸水想定区域外
- 50 浸水想定区域外
- 51 浸水想定区域外
- 52 浸水想定区域外
- 53 浸水想定区域外
- 54 浸水想定区域外
- 55 浸水想定区域外
- 56 浸水想定区域外
- 57 浸水想定区域外
- 58 浸水想定区域外
- 59 浸水想定区域外
- 60 浸水想定区域外
- 61 浸水想定区域外
- 62 浸水想定区域外
- 63 浸水想定区域外
- 64 浸水想定区域外
- 65 浸水想定区域外
- 66 浸水想定区域外
- 67 浸水想定区域外
- 68 浸水想定区域外
- 69 浸水想定区域外
- 70 浸水想定区域外
- 71 浸水想定区域外
- 72 浸水想定区域外
- 73 浸水想定区域外
- 74 浸水想定区域外
- 75 浸水想定区域外
- 76 浸水想定区域外
- 77 浸水想定区域外
- 78 浸水想定区域外
- 79 浸水想定区域外
- 80 浸水想定区域外
- 81 浸水想定区域外
- 82 浸水想定区域外
- 83 浸水想定区域外
- 84 浸水想定区域外
- 85 浸水想定区域外
- 86 浸水想定区域外
- 87 浸水想定区域外
- 88 浸水想定区域外
- 89 浸水想定区域外
- 90 浸水想定区域外
- 91 浸水想定区域外
- 92 浸水想定区域外
- 93 浸水想定区域外
- 94 浸水想定区域外
- 95 浸水想定区域外
- 96 浸水想定区域外
- 97 浸水想定区域外
- 98 浸水想定区域外
- 99 浸水想定区域外
- 100 浸水想定区域外

水害の目安

色	浸水深	水害の目安
青	0.5m以下	水害発生が想定される
黄	0.5~1.0m	避難行動で対応する
橙	1.0~2.0m	避難行動で対応する
赤	2.0~3.0m	避難行動で対応する
黒	3.0m以上	避難行動で対応する

行政機関等一覧

名称	所在地	電話番号
金沢市役所	広坂1-1-1	076-220-2111
金沢市消防局	泉本町7-9-2	076-290-0119
金沢市中央消防署	泉本町7-9-2	076-290-5016
金沢市駅前消防署	駅西本町11-1-29	076-290-6007
金沢市金石消防署	金石東1-3-3	076-290-7012
金沢河川国道事務所(国)	西念4-23-5	076-264-8800
石川県庁	輪島1-1	076-225-1111
県土木総合事務所(県)	泉本町6-34	076-241-8201
金沢市教育委員会	広坂1-1-1	076-220-2431
金沢中警察署	下本多町6番丁15-1	076-262-1171
金沢東警察署	元町2-15-1	076-253-0110
金沢西警察署	金石本町1-1	076-267-1241
金沢市保健所	西念3-4-25	076-234-5102
金沢市企業局	広坂3-3-30	076-220-2281
NIT西日本(株)金沢支店	出羽町4-1	113
北越電力(株)	(お客様サービスセンター)	0120-77-6453

■お問い合わせ先
 金沢市役所 内水整備課 TEL: 076-220-2342
 金沢市広坂1-1-1 防災管理課 TEL: 076-220-2060

水位情報と避難行動の関係図

河川の水位情報 (単位: m)

河川	観測点	観測値	警戒値	危険値	避難値	避難行動	避難場所	避難時間								
犀川	犀川	2.8	4.6	3.7	1.6	4.2	1.8	1.8	1.2	2.2	1.3	1.3	1.3	3.1	4.9	9.18
浅野川	浅野川	2.0	3.5	2.9	0.9	3.5	1.6	1.6	1.1	1.7	1.2	1.2	1.2	2.5	3.6	4.9
伏見川	伏見川	1.4	3.0	2.7	0.6	2.0	1.2	1.3	0.8	1.5	0.9	0.9	0.9	2.0	2.8	3.9
高橋川	高橋川	1.1	2.5	1.6	0.4	1.6	0.7	1.1	0.7	1.2	0.8	0.8	0.8	1.8	2.3	3.6

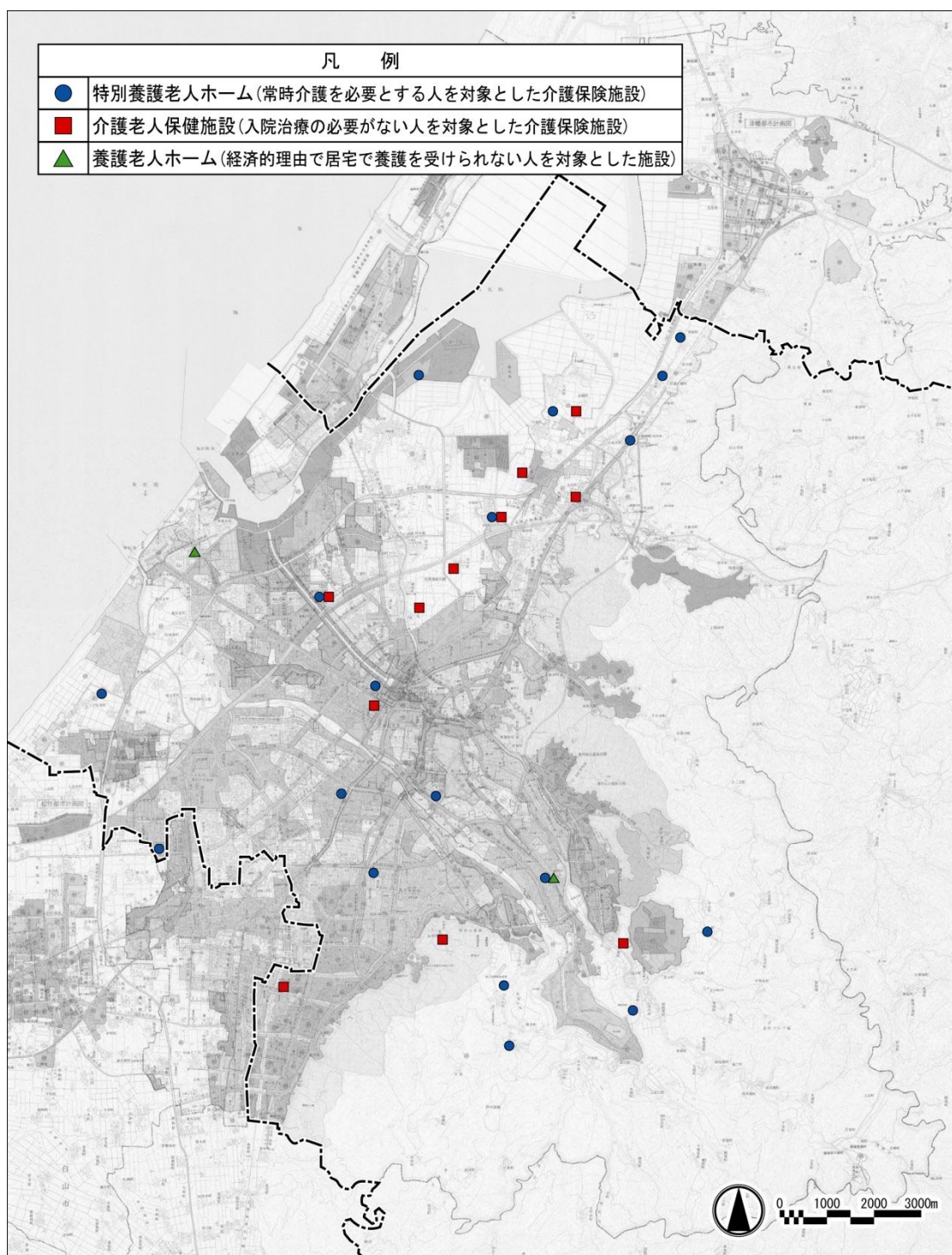
※詳細は金沢市 HP をご覧ください。

出典：金沢市内水整備課 HP (H22. 3)

⑩高齢者福祉施設の配置

- ・高齢者福祉施設は、市内全域に分布していますが、中心部よりも郊外部に多く分布する傾向があります。
- ・市内には、特別養護老人ホーム 18 件、介護老人保健施設 11 件、養護老人ホームが 2 件あります。

【高齢者福祉施設分布図】



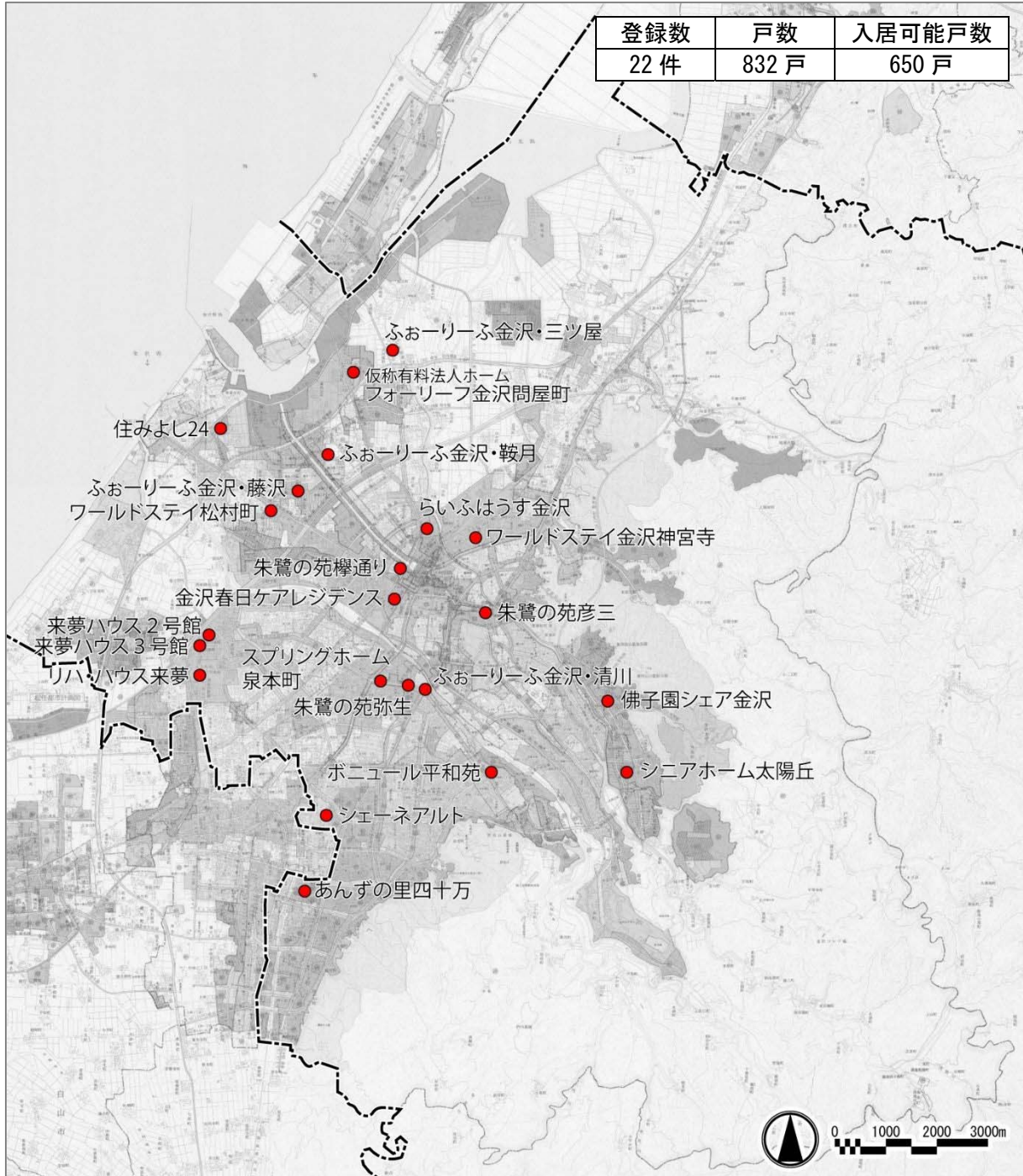
※詳細は金沢市長寿福祉課までお問い合わせください。

出典：金沢市長寿福祉課 HP の施設リストを元に作成(平成 25 年 5 月現在)

⑪高齢者向け住宅の状況

- ・サービス付き高齢者住宅は、平成25年11月時点で、登録数が22件、832戸となっており、そのうち入居可能戸数は650戸となっています。

【サービス付き高齢者向け住宅 配置状況】



※詳細は金沢市住宅政策課までお問い合わせください。

出典：金沢市資料

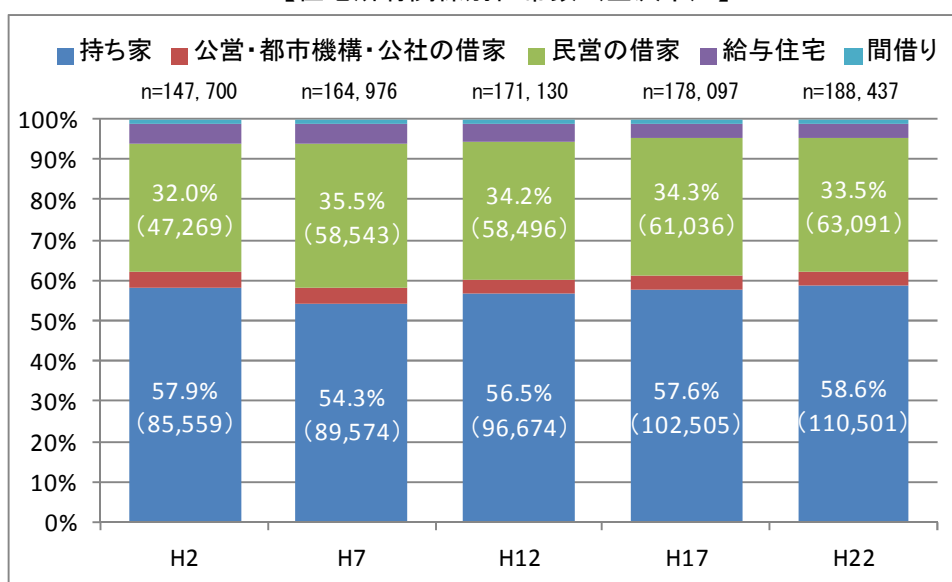
2. 本市の住宅事情

(1) 住宅所有関係

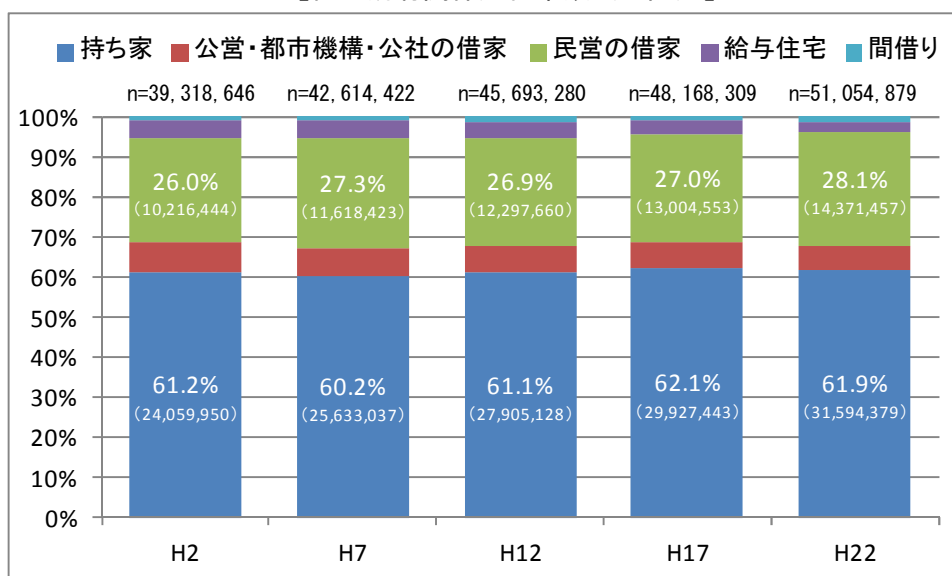
①住宅所有関係別世帯数

- ・市内の住宅に住む一般世帯数は、増加傾向が続いており、平成 22 年現在において 18.8 万世帯となっています。平成 22 年現在の住宅所有関係別世帯数の構成比は、「持ち家(58.6%)」が最も多く、次いで「民営の借家(33.5%)」となっています。
- ・全国平均と比べると、「持ち家」の割合が 3.3 ポイント低く、「民営の借家」の割合が 5.4 ポイント高くなっています。

【住宅所有関係別世帯数（金沢市）】



【住宅所有関係別世帯数（全国）】

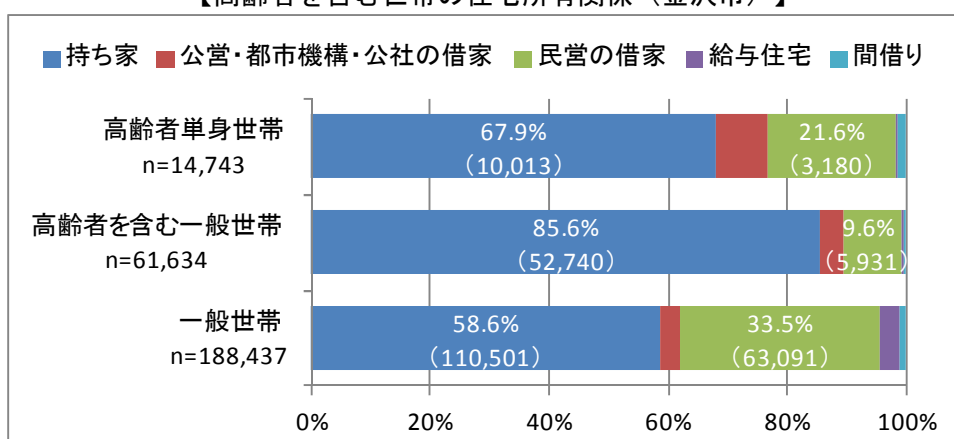


出典：国勢調査

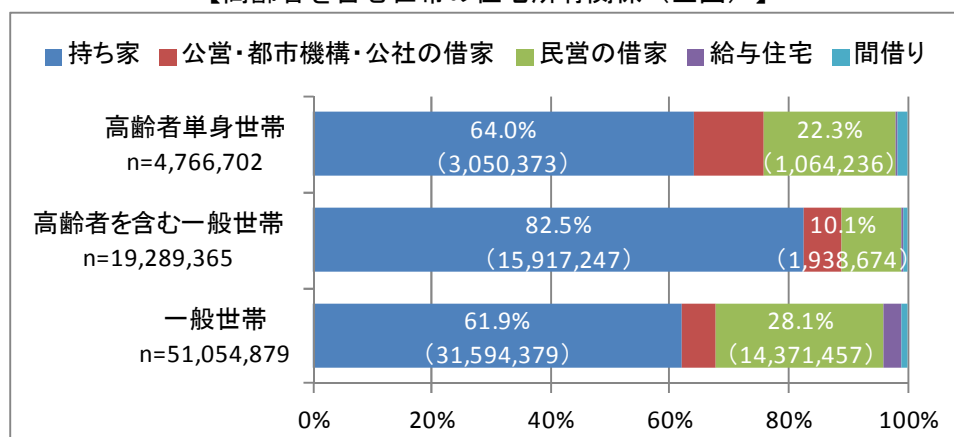
②高齢者を含む世帯の住宅所有関係

- ・平成 22 年現在の高齢者を含む一般世帯（61,634 世帯）の住宅所有関係別世帯数の構成比は、「持ち家(85.6%、52,740 世帯)」が最も多く、次いで「民営の借家(9.6%、5,931 世帯)」となっています。
- ・このうち、高齢者単身世帯（14,743 世帯）の住宅所有関係をみると、「持ち家(67.9%、10,013 世帯)」、「民営の借家(21.6%、3,180 世帯)」の順となっており、「民営の借家」の比率が高くなっています。
- ・全国平均と比べると、高齢者単身世帯や高齢者を含む一般世帯では「持ち家」の割合が高くなっています。

【高齢者を含む世帯の住宅所有関係（金沢市）】



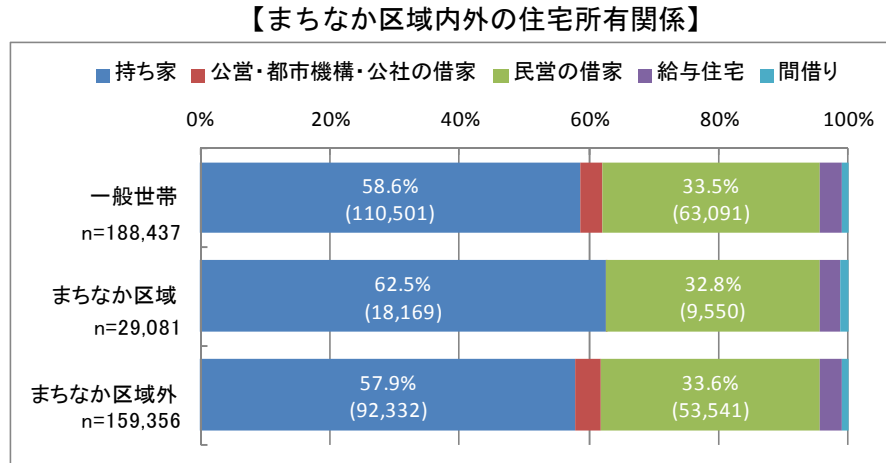
【高齢者を含む世帯の住宅所有関係（全国）】



出典：国勢調査 (H22)

③まちなか区域の住宅所有関係

- ・平成 22 年現在のまちなか区域（29,081 世帯）における一般世帯の住宅所有関係別世帯数の構成比は、まちなか区域外よりも持ち家率(62.5%、18,169 世帯)が高くなっています。

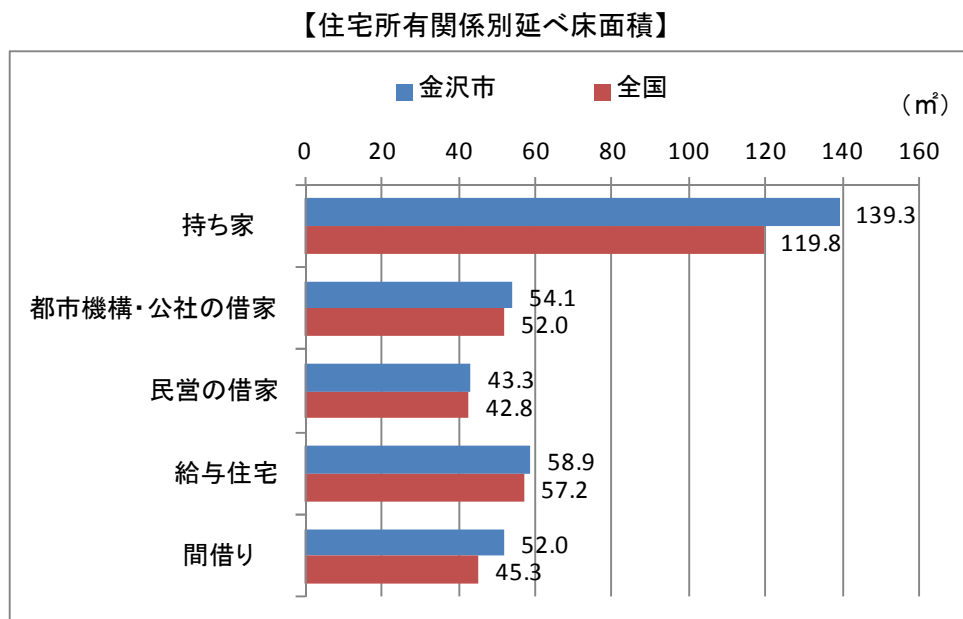


出典：国勢調査 (H22)

(2) 住宅の規模

①住宅所有関係別延べ床面積

- ・平成 17 年現在における住宅所有関係別延べ床面積は、持ち家が 139.3 m²(42.1 坪)、民営借家が 43.3 m²(13.1 坪)となっています。また全国平均と比べて全ての住宅所有関係において、本市の延べ床面積が大きくなっています。



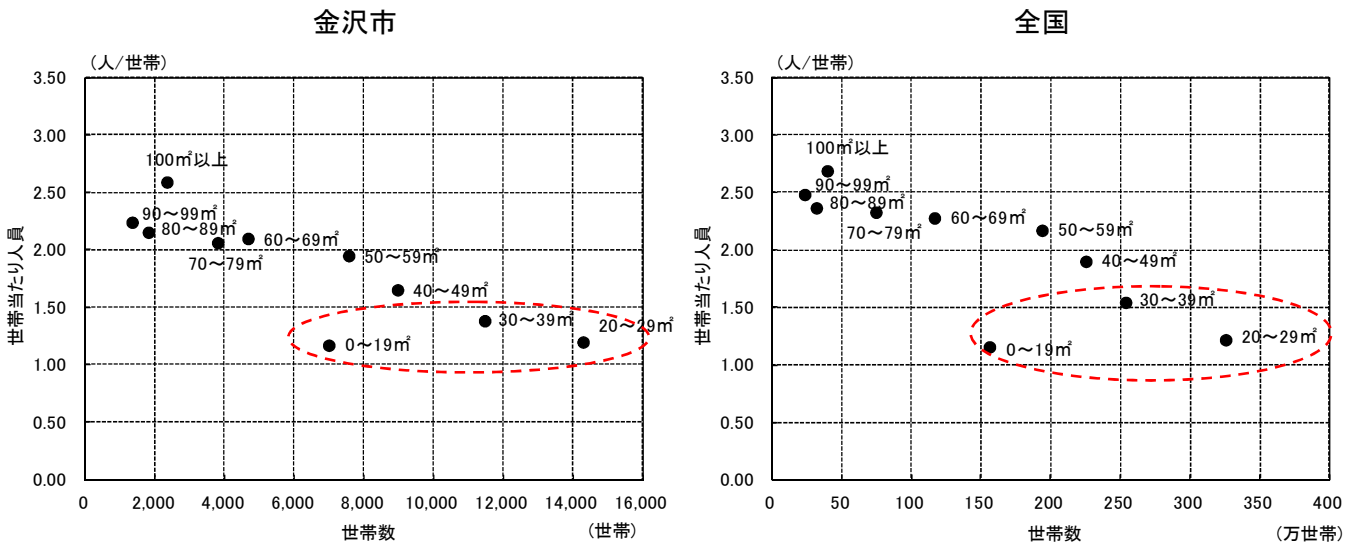
出典：国勢調査 (H17)

※平成 22 年国勢調査では調査項目より除外されたためデータなし

② 民営借家の延べ床面積

- ・平成 22 年現在における本市の延べ床面積別民営借家入居世帯数をみると、20-29 m² (14, 266 世帯) が最も多く、40 m²未満が 32, 684 世帯と全体の 51.8%を占めており、全国平均 (51.0%) とほぼ同じ分布となっています。
- ・40 m²未満の世帯当たり人員は 1.17~1.38 人/世帯となっており、民営借家の約半数が主として単身者向けに供給されていると考えられます (全国平均は 1.16~1.55 人/世帯)。

【民営借家の延べ床面積】

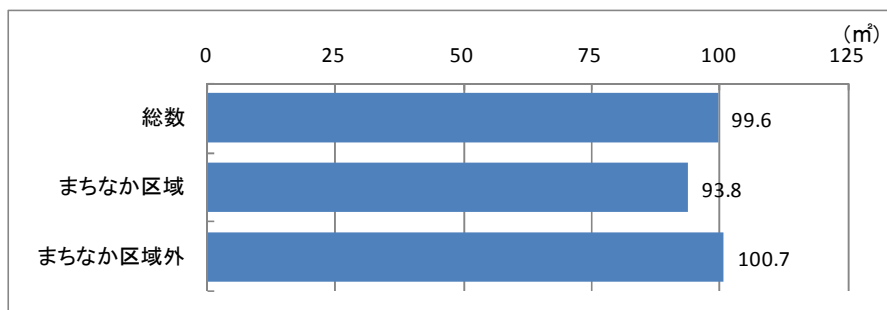


出典：国勢調査 (H22)

③ まちなか区域の世帯当たり延べ床面積

- ・平成 17 年現在のまちなか区域における世帯当たり延べ床面積 (93.8 m²=28.4 坪) は、当該区域外 (100.7 m²=30.5 坪) よりも若干小さくなっています。

【まちなか区域の世帯当たり延べ床面積】



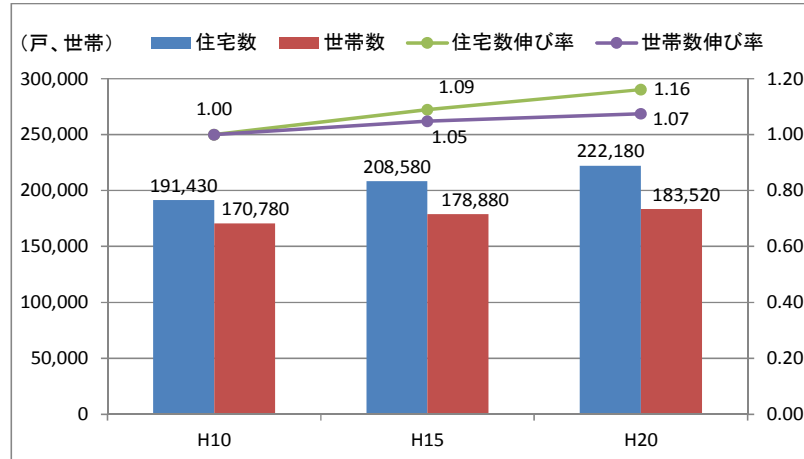
出典：国勢調査 (H17)

※平成 22 年国勢調査では調査項目より除外されたためデータなし

(3) 住宅ストックと世帯数

- 平成 20 年現在の本市の住宅数は 222,180 戸となっており、平成 10 年と比べて 1.16 倍となっています。また、世帯数は平成 20 年で 183,520 世帯であり、平成 10 年と比べて 1.07 倍となっており、住宅数の伸び率が世帯数の伸び率を上回っています。

【住宅数と空き家率の推移】

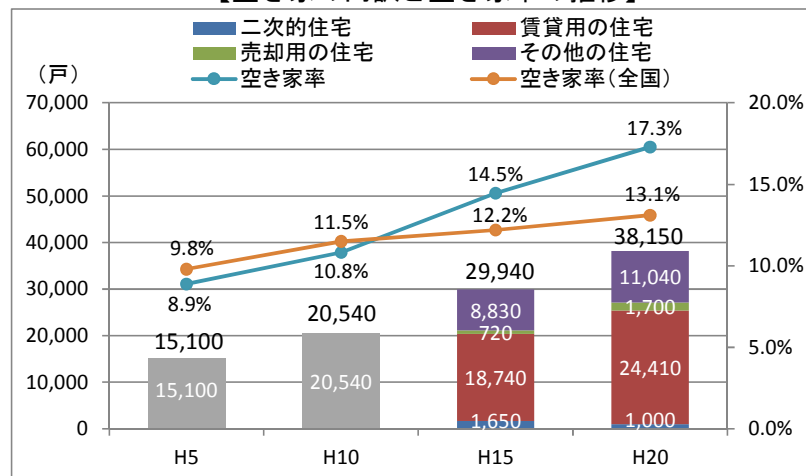


出典：住宅・土地統計調査

(4) 空き家数と空き家率

- 平成 20 年現在の本市の空き家数は 38,150 戸となっており、平成 5 年と比べて 2 倍以上となっています。内訳を見ると「賃貸用の住宅」が 24,410 戸と全体の約 6 割を占めています。
- 空き家率は、平成 10 年までは全国平均とほぼ同じ割合で推移していましたが、平成 15 年以降、本市の空き家率の割合が大きくなり、平成 20 年では 17.3%（全国平均：13.1%）となっています。

【空き家の内訳と空き家率の推移】



※平成 5 年、平成 10 年は空き家の内訳がない

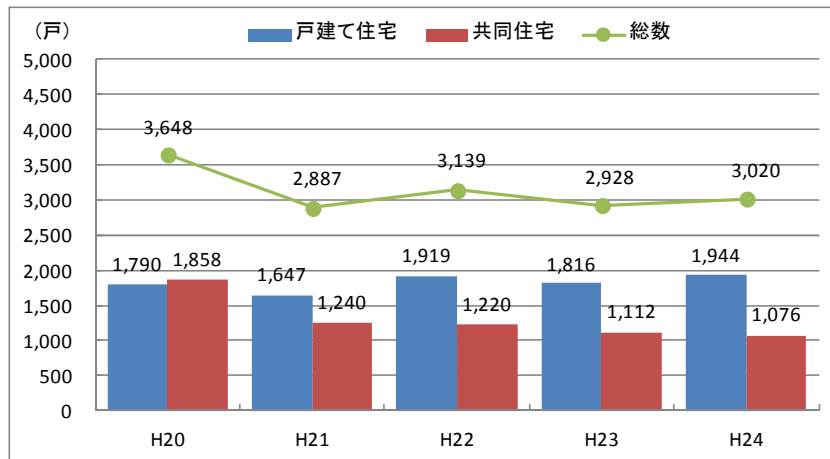
出典：住宅・土地統計調査

(5) 新規住宅着工戸数

①新規住宅着工戸数(全市)

- ・平成 24 年度の新規住宅着工戸数は 3,020 戸となっており、内訳をみると戸建て住宅(1,944 戸)が 64.4%を占めています。
- ・過去 5 年間の実績をみると、着工戸数全体では、平成 20 年度から平成 21 年度にかけて共同住宅を中心として約 600 戸減少しており、その後は横ばい傾向となっています。

【新規住宅着工戸数(全市)の推移】

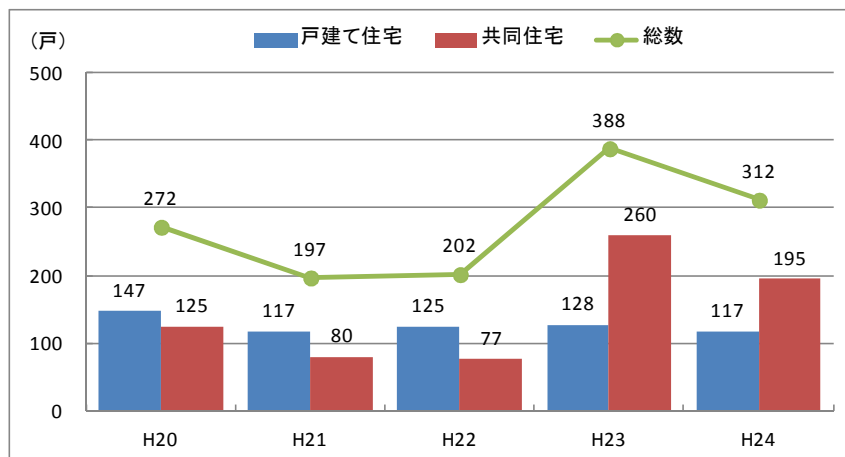


出典：金沢市資料

②まちなか区域の新規住宅着工戸数

- ・平成 24 年度の新規住宅着工戸数は 312 戸となっており、内訳をみると共同住宅(195 戸)が 62.5%を占めています。
- ・戸建て住宅の着工戸数は 120 件前後で横ばいですが、共同住宅の着工戸数は年度により大きく変化し、平成 23 年度の 260 件が最も多くなっています。

【まちなか区域の新規住宅着工戸数の推移】



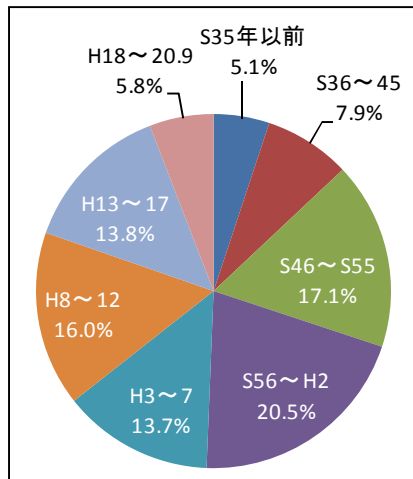
出典：金沢市資料

(6) 住宅の建築時期

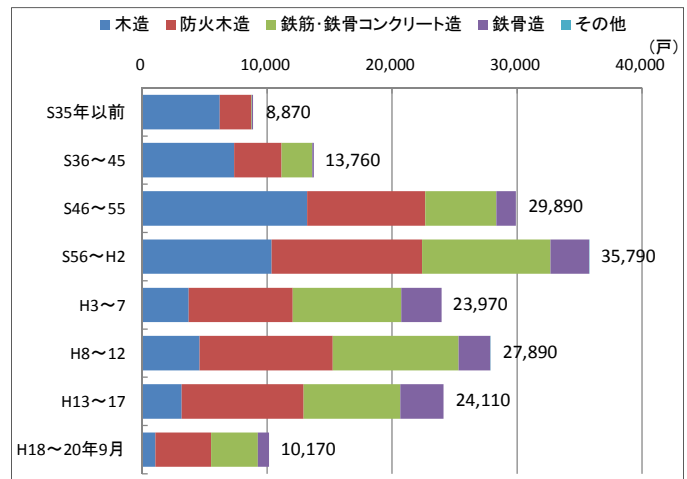
① 建築時期別住宅戸数

- 平成 20 年現在の建築時期別住宅戸数をみると、「昭和 56 年～平成 2 年」(20.5%) が最も多く、「昭和 55 年以前」は全体(174,450 戸)の 30.1%(52,520 戸)を占めています。

【建築時期別住宅戸数】



※建築の時期「不詳」を除く

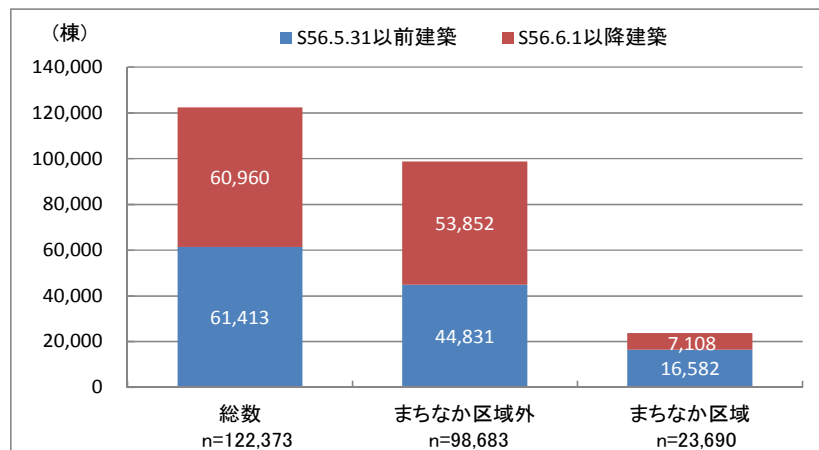


出典：住宅・土地統計調査 (H20)

② 新耐震基準以前に建築された住宅数

- 平成 19 年 1 月現在、住宅は 122,373 棟あり、新耐震基準以前に建築された住宅は全体の 50.2%(61,413 棟)を占めています。
- まちなか区域には、23,690 棟の住宅があり、新耐震基準以前に建築された住宅は全体の 70.0%(16,582 棟)を占めています。
- なお、金沢市耐震改修促進計画によると、耐震性が確保されている住宅は、まちなか区域 40.4%、当該区域外 61.3%となっており、平成 24 年度末での市内における耐震化率は、棟別では約 60%、住戸数では約 80%となっています。

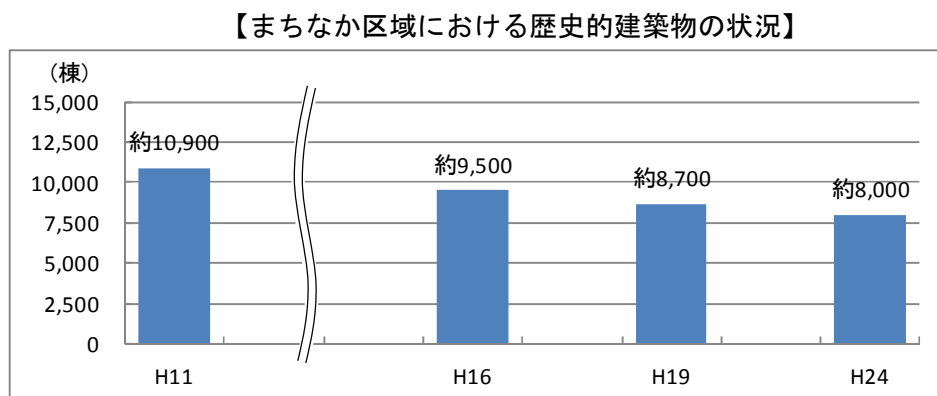
【新耐震基準以前に建築された住宅数】



出典：金沢市耐震改修促進計画 (H20)

③まちなか区域における歴史的建築物の状況

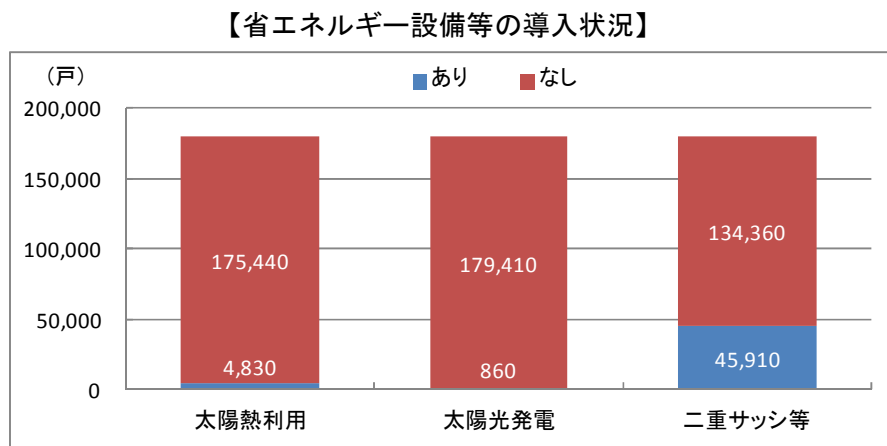
- ・まちなか区域における歴史的建築物は、平成 11 年には約 10,900 棟でしたが、平成 16 年には約 9,500 棟、平成 19 年には約 8,700 棟、さらに平成 24 年には約 8,000 棟まで減少し、近年では年間約 140 棟以上が消失（固定資産税台帳による）しています。



出典：金沢市資料

(7) 省エネルギー設備等の導入状況

- ・平成 20 年現在の省エネルギー設備等の導入状況をみると、太陽熱を利用した温水機器等が 4,830 戸(2.6%)、太陽光を利用した発電機器が 860 戸(0.5%)、二重サッシ・複層ガラス窓が 45,910 戸(25.5%)となっています。
- ・太陽光発電については、平成 21～24 年度で 1,175 戸の設置があり、大幅に増加しています。



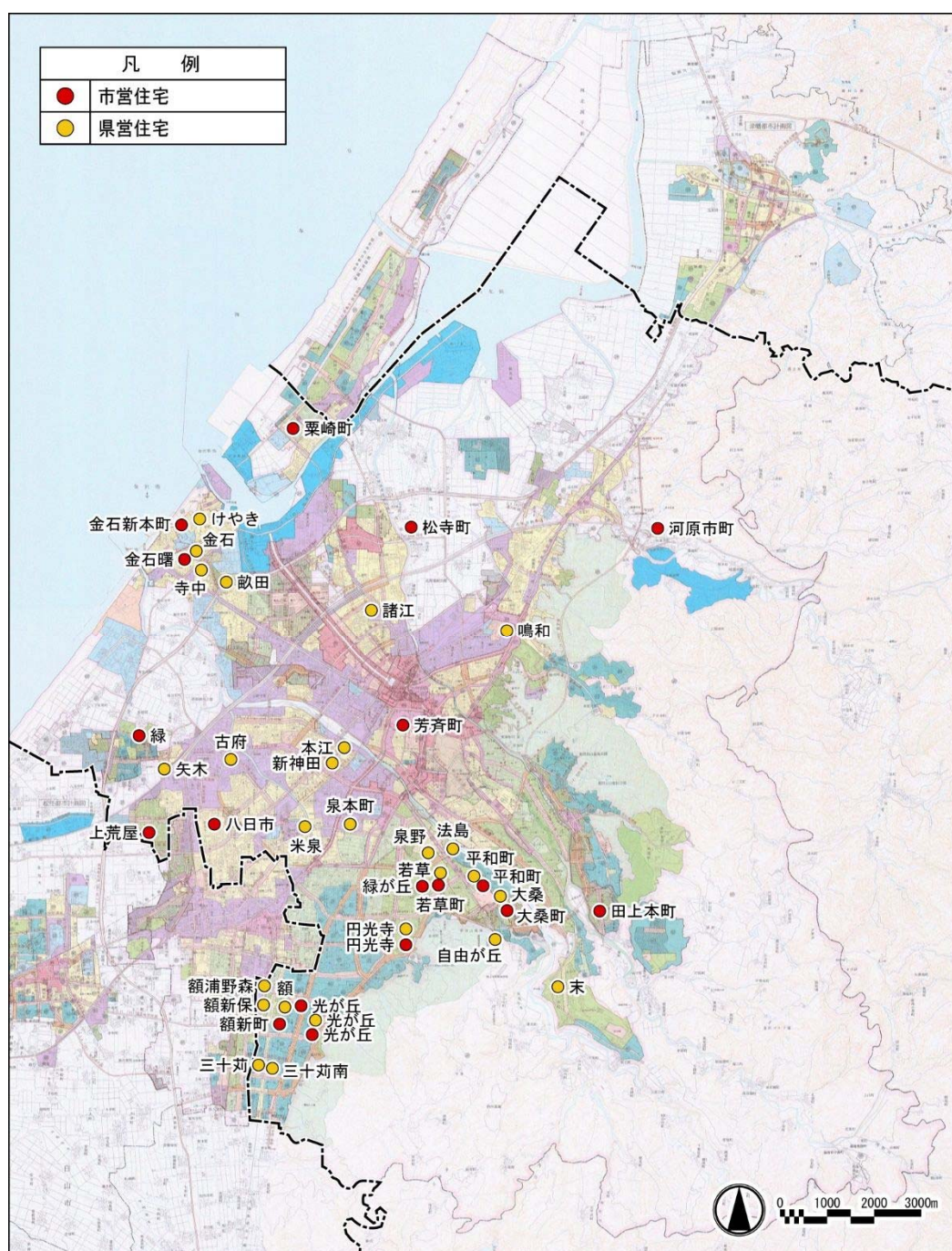
出典：住宅・土地統計調査 (H20)

(8) 市営住宅等の状況

①市営住宅の現況

- ・平成24年4月現在、市内には市営住宅16団地（169棟3,480戸）および特定公共賃貸住宅として芳斉町住宅（1棟9戸）が供給されています。また、県営住宅は24団地（2,672戸）、UR賃貸住宅は2団地（196戸）が供給されています（平成25年4月現在）。
- ・額新町をはじめとする大規模団地（150戸以上）では、既に耐用年限の1/2を超過（建替時期を迎えた住宅）したものや、計画期間中に建替時期を迎えるものがみられます。

【市営住宅および県営住宅の位置】



【市営住宅一覧】

		棟数	戸数				構造	経過年数 (耐用年限)	タイプ	
			合計	うち、特定目的戸数						
				高齢者	シルバー	身障者				車いす
1	若草町	1	16	0	0	0	0	中耐	17 (70)	2DK、3K
2	平和町	1	19	0	0	5	0	中耐	10 (70)	2DK、3DK
	平和町(改)	1	50	0	0	0	0	中耐	41 (70)	2DK
3	円光寺	6	78	0	0	0	0	中耐	19~26 (70)	2DK、3DK
4	額新町	14	273	18	18	0	9	中耐	2~48 (70)	1LK、2K、 2DK、3DK、 3LDK、5DK
5	光が丘	17	263	8	0	0	0	中耐	18~46 (70)	2K、2DK、 3DK、3LDK、 5DK
6	金石曙	10	180	12	0	0	0	中耐	15~22 (70)	2DK、3DK
7	栗崎町	12	270	0	19	2	6	中耐	9~16 (70)	2DK、2LDK、 3DK
8	松寺町	7	162	0	0	0	0	中耐	11~17 (70)	2DK、3DK
9	上荒屋	16	258	0	0	0	0	中耐	23~29 (70)	2DK、3K、 3DK
10	緑	4	12	32	0	0	4	簡二	40~42 (45)	4DK
		35	798					中耐	18~42 (70)	2DK、3K、 3DK、5DK
		4	532					高耐	32~36 (70)	2DK、2LDK、 3DK
11	河原市町	4	64	0	0	0	0	中耐	22~30 (70)	3DK
12	金石新本町	3	50	4	0	0	0	中耐	24 (70)	2DK、3DK
13	八日市	1	32	0	17	3	0	中耐	10 (70)	2DK、2LDK、 3DK
14	大桑町	29	351	0	0	0	0	中耐	32~34 (70)	2LDK、3DK
15	緑が丘	1	12	0	0	0	0	中耐	8 (70)	2DK、3DK
16	田上本町	3	60	0	19	2	0	中耐	5~7 (70)	1LDK、2DK、 2LDK、3DK、 4DK
	計	169	3,480	74	73	12	19			

出典：金沢市市営住宅課 H24.4(経過年数は、建設竣工年度から H24 年度まで)

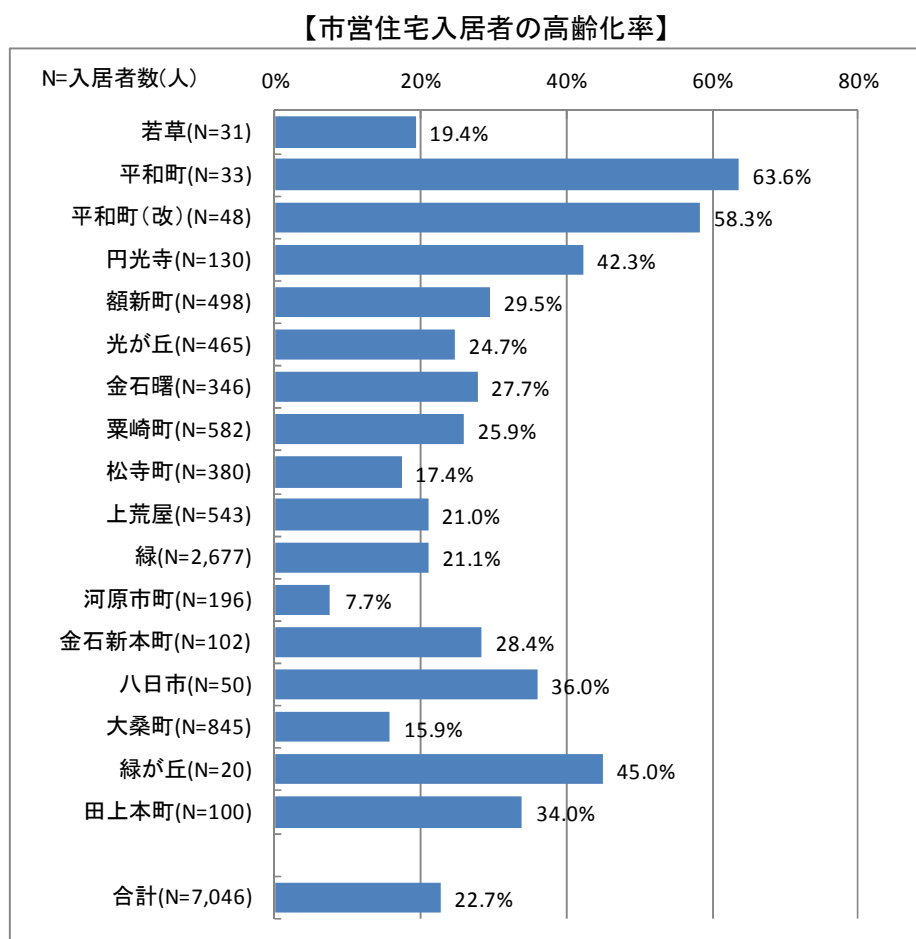
【県営住宅等一覧】

		名称	構造	建設竣工年度	戸数	タイプ
県営住宅	1	泉野	耐火	H15	15	1LDK, 2LDK
	2	平和町	耐火	S57～H22	773	1LDK～4DK
	3	円光寺	耐火	S58・59	82	2DK, 3DK, 2LDK
	4	鳴和	耐火	H11～H21	84	1LDK～3LDK
	5	若草	耐火	S63	22	2K～3DK
	6	額	耐火	H24	35	1LDK～3LDK
	7	額新保	耐火	S49～H3	51	2LDK～3LDK
	8	三十苺	耐火	S48	38	3DK
	9	三十苺南	耐火	S49・50	68	3DK
	10	大桑	耐火	H12～22	253	1DK～3LDK
	11	法島	耐火	H12	12	2DK～3DK
	12	諸江	耐火	S55・56	121	2DK～3DK
	13	額浦野森	耐火	S55	64	3DK
	14	新神田	耐火	S56	139	2DK～3DK
	15	古府	耐火	S57	60	2DK, 3DK
	16	末	耐火	S57	87	3DK
	17	寺中	耐火	S58～H2	124	2DK～3DK
	18	米泉	耐火	S59	88	2DK～4DK
	19	泉本町	耐火	S59～H18	121	1LDK～4LDK
	20	金石	耐火	S59	27	2DK, 3DK
	21	矢木	耐火	S61	84	2DK～4DK
	22	畝田	耐火	S62～H2	162	2DK～3LDK
	23	けやき	耐火	H8～11	100	2LDK, 3LDK
県営改良住宅	24	平和町	耐火	S43～45	62	2K
小計					2,672	
UR賃貸住宅	1	ライブ1 かなざわ	耐火	S61	96	1LDK, 2DK, 3DK, 3LDK
	2	新神田団地	耐火	S52	100	3DK
小計					196	
合計					2,868	

出典：石川の公的賃貸住宅 HP (H25. 4)

②市営住宅入居者の高齢化率

- ・平成 24 年 4 月現在、市営住宅の入居者数は 7,046 人となっており、老年人口比率は 22.7%となっています。
- ・市営住宅別に高齢化率をみると、平和町(63.6%)が最も高く、次いで平和町改良(58.3%)、緑が丘(45.0%)となっています。



出典：金沢市市営住宅課

(9) 定住支援制度の活用状況

- 平成 25 年度現在における定住支援制度は 9 事業あり、そのうち 6 事業が利用されています。特に、戸建て住宅の新築や購入時に助成する「まちなか住宅建築奨励金」や「いい街金沢住まいづくり奨励金」の利用が多くなっています。

【定住支援制度一覧（平成 24 年度末現在）】

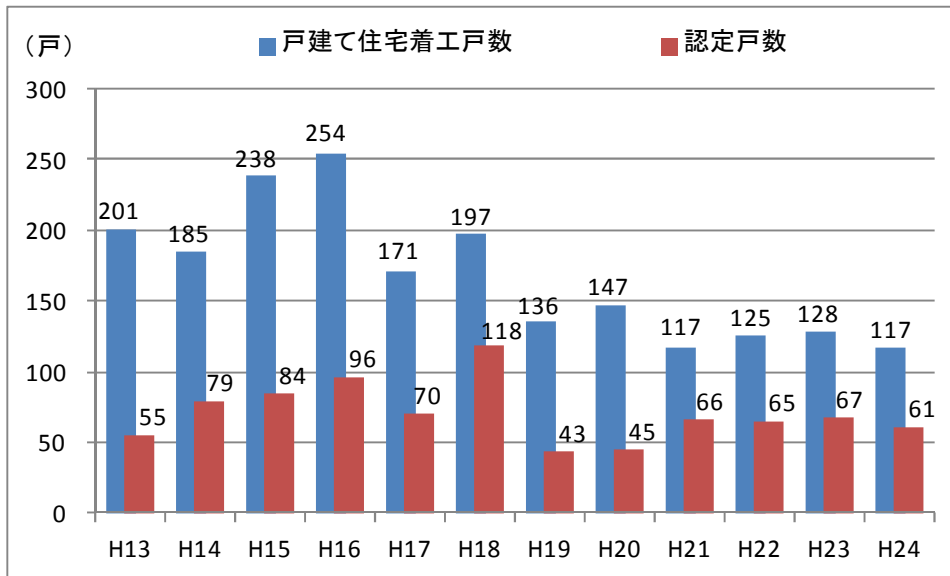
	開始年度	実績(上段：件数、下段：金額)		概要
		認定	交付	
まちなか住宅建築奨励金	H10	947 戸 —	879 戸 1,840,027 千円	まちなか住宅建築奨励金交付対象区域において自己が居住する戸建て住宅を、住宅ローンにて、新築又は購入する場合に助成する
まちなかマンション購入奨励金	H18	3 棟 125 戸 —	56 戸 51,720 千円	まちなか区域を対象に、自己が居住する、あらかじめ認定を受けた新築分譲マンションを住宅ローンにて購入する場合に助成する
まちなか住宅団地整備費補助金	H13	14 団地 91 区画 —	91 区画 196,108 千円	まちなか区域を対象に、面積が 500 m ² 以上の良質な開発行為に補助する
まちなか低未利用地活用促進事業補助金	H20	0 戸 —	0 区画 0 千円	まちなか区域を対象に、狭あいな道路に接する 500 m ² 未満の住宅地整備に助成する
まちなか空地活用促進奨励金	H22	0 件 —	0 件 0 千円	まちなか低未利用地活用促進事業補助金に適用となった空地の売主に譲渡所得金額相当分の 3% を助成する
まちなか空家活用促進補助金	H22	— —	耐震診断：2 件 耐震設計：2 件 耐震改修：2 件 内部改修：13 件 耐震診断：200 千円 耐震設計：400 千円 耐震改修：2,900 千円 内部改修：8,150 千円	まちなか区域を対象に、専用住宅および併用住宅（居住部分が 1/2 以上）で昭和 26 年以降に建築された空家を購入し、自ら定住する方に対して内部改修工事費を助成する
まちなか中古分譲マンション改修費補助金	H23	— —	22 戸 6,980 千円	まちなか区域を対象に、住戸専有面積が 50 m ² 以上で昭和 56 年 6 月 1 日以降に建築された中古分譲マンションを購入し、自ら定住する方に対して内部改修費を助成する
まちなか住まい共同計画作成支援金	H13	— —	0 件 0 千円	まちなか区域を対象に、隣り合った宅地を合わせての住宅共同建替や、コーポラティブハウスの建築計画に支援する
いい街金沢住まいづくり奨励金	H16	1,254 戸 —	1,125 戸 531,550 千円	地区計画区域等において、45 歳未満の方で自己が居住する戸建て住宅を、住宅ローンにて新築又は購入する場合に助成する

出典：金沢市資料

①まちなか住宅建築奨励金

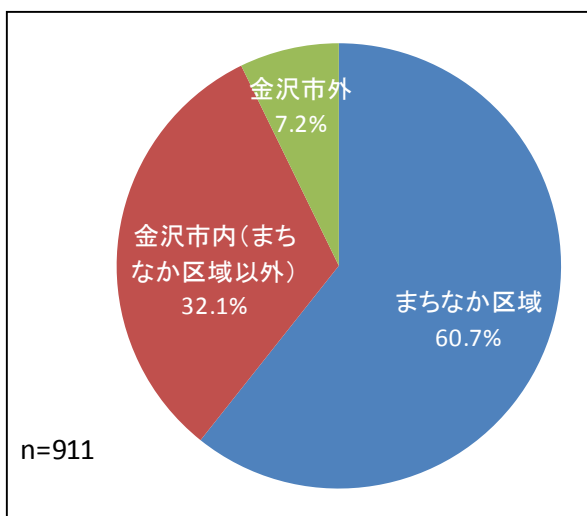
- ・平成 24 年度の認定戸数は 61 件となっており、戸建住宅着工戸数のうち 52%が認定を受けています。
- ・制度利用者の従前居住地は「まちなか区域」が最も多く 60.7%を占め、次いで「金沢市内（まちなか区域以外）」が 32.1%、「金沢市外」が 7.2%となっています。
- ・従前土地利用は「住宅（自宅建替以外）」が最も多く 38.4%を占め、次いで「低・未利用地」が 30.0%、「住宅（自宅建替）」が 27.0%となっています。

【まちなか住宅建築奨励金の認定実績推移】

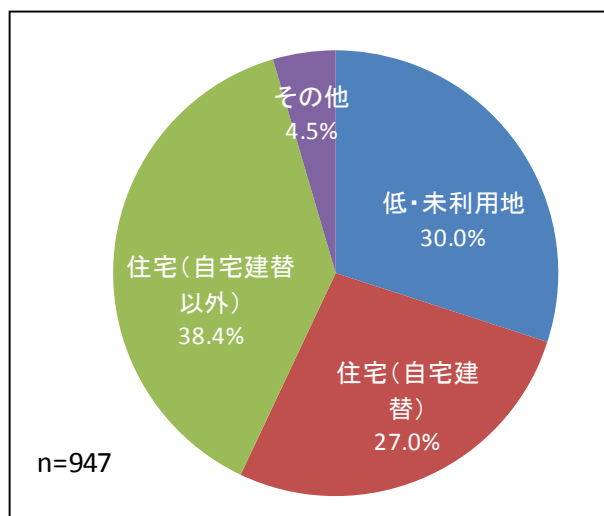


出典：金沢市資料

【従前居住地】



【従前土地利用】



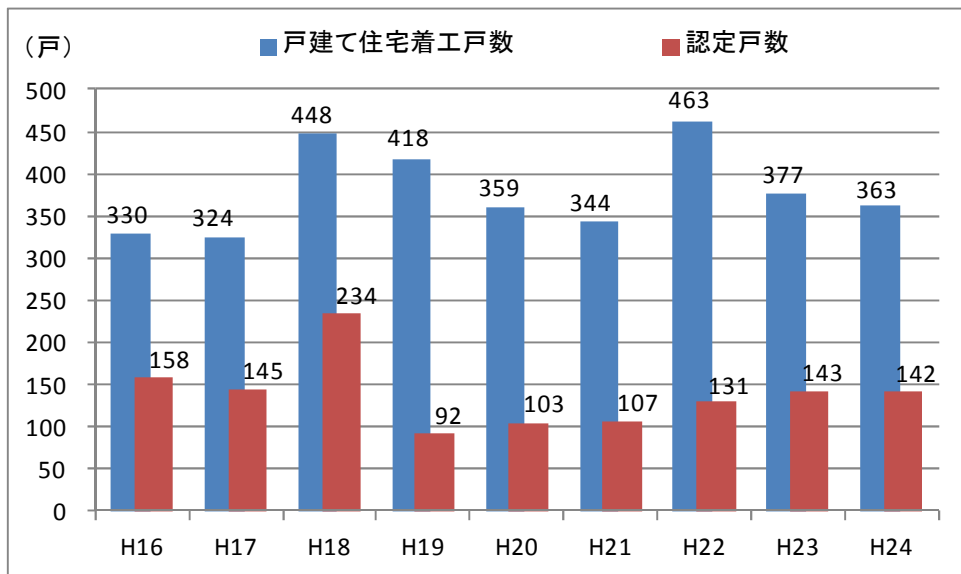
※四捨五入により割合の合計が 100%にならない場合があります。

出典：金沢市資料

②いい街金沢住まいづくり奨励金

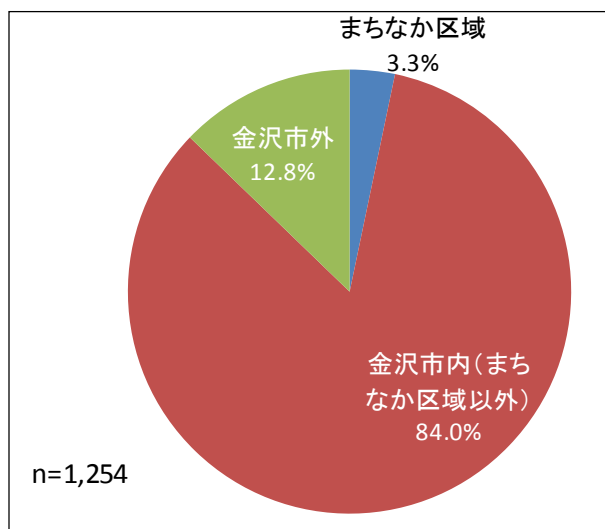
- ・平成24年度の認定戸数は142件となっており、戸建住宅着工戸数のうち39%が認定を受けています。
- ・制度利用者の従前の居住地は「金沢市内（まちなか区域以外）」が最も多く84.0%を占め、次いで「金沢市外」が12.8%、「まちなか区域」が3.3%となっています。
- ・従前の居住住宅の形態は「共同住宅」が77.5%、「戸建住宅」が22.5%となっています。

【いい街金沢住まいづくり奨励金の認定実績推移】

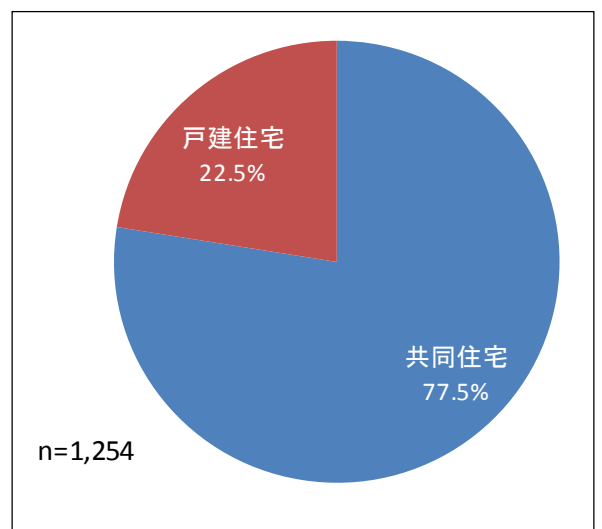


出典：金沢市資料

【従前の居住地】



【従前の居住住宅の形態】



※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合があります。

出典：金沢市資料

③まちなか住宅団地整備費補助

- 平成 22 年度までの過去 10 年間で認定を受けた区画数は 91 区画、19,177 m²となっています。

【まちなか住宅団地計画認定一覧】

番号	認定年度	事業地	区画数	区域面積 (m ²)	平均区画面積 (m ²)
①	H13	笠舞 3 丁目	4	1,213.67	204
②	H14	小将町	8	1,703.17	143
③	H15	長町 3 丁目	9	2,015.80	155
④		彦三町 2 丁目	6	929.57	135
⑤	H16	天神町 2 丁目	3	891.33	160
⑥	H17	山の上町	7	1,578.49	184
⑦	H18	東山 3 丁目	7	1,182.25	133
⑧		白菊町	18	3,935.26	173
⑨	H19	桜町	4	775.42	128
⑩		長町 3 丁目	3	658.35	178
⑪	H21	横山町	10	2,002.63	158
⑫		桜町	3	557.44	176
⑬	H22	彦三町 2 丁目	5	938.89	159
⑭		本多町 3 丁目	4	794.85	165
合 計			91	19,177.12	158

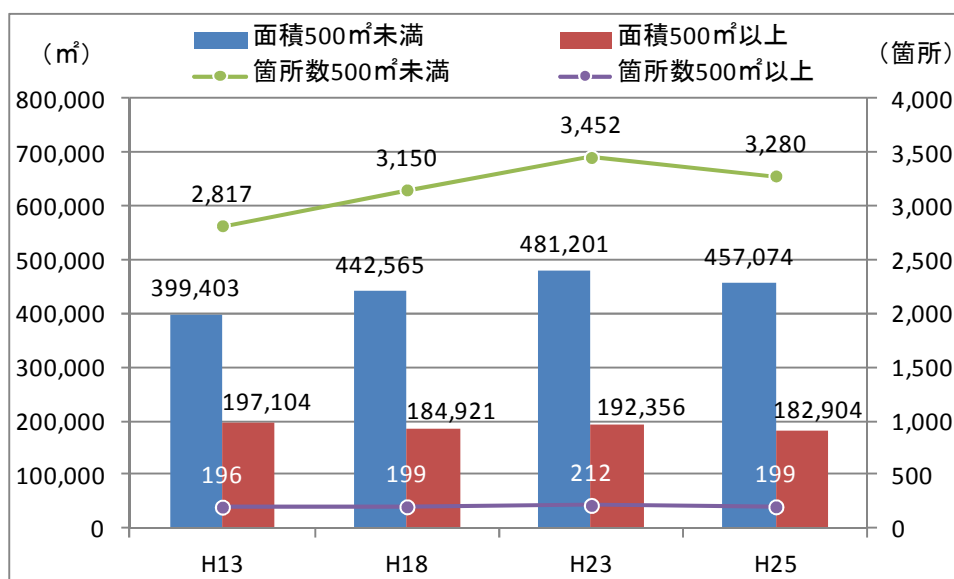
出典：金沢市資料

(10) 土地利用の状況

①低未利用地

- 平成 13 年以降 500 m²未満の低未利用地は面積、箇所数ともに増加傾向にありましたが、平成 25 年では減少となっています。また、500 m²以上の未利用地は面積、箇所数ともに横ばいで推移しています。

【低未利用地の状況】



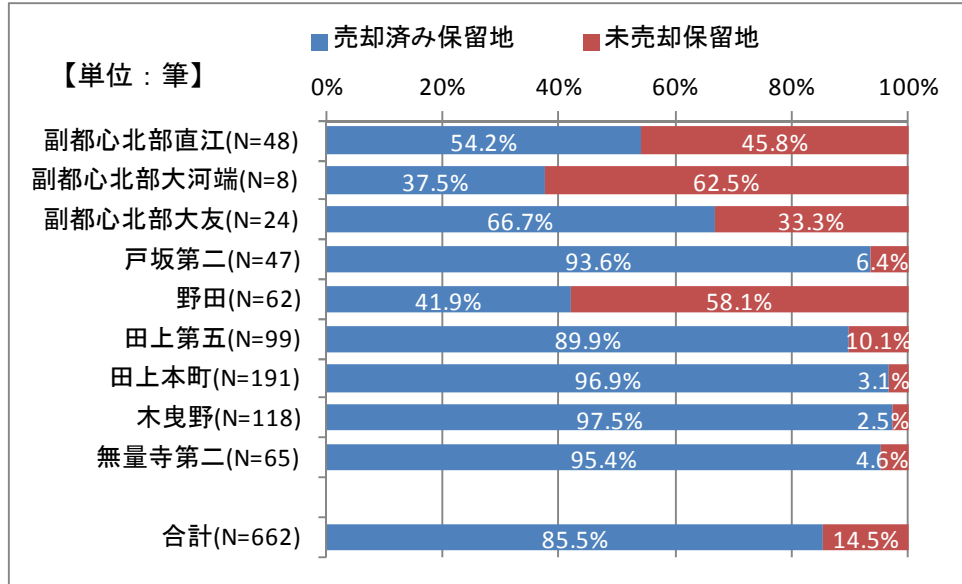
出典：金沢市資料

②区画整理地区の保留地

<筆数割合>

- ・保留地の状況（筆数）は全体の 85.5%が売却済みとなっています。地区別で見ると「副都心北部大河端」「野田」では未売却が約 6 割となっています。

【区画整理地区の保留地の状況（筆数割合）】

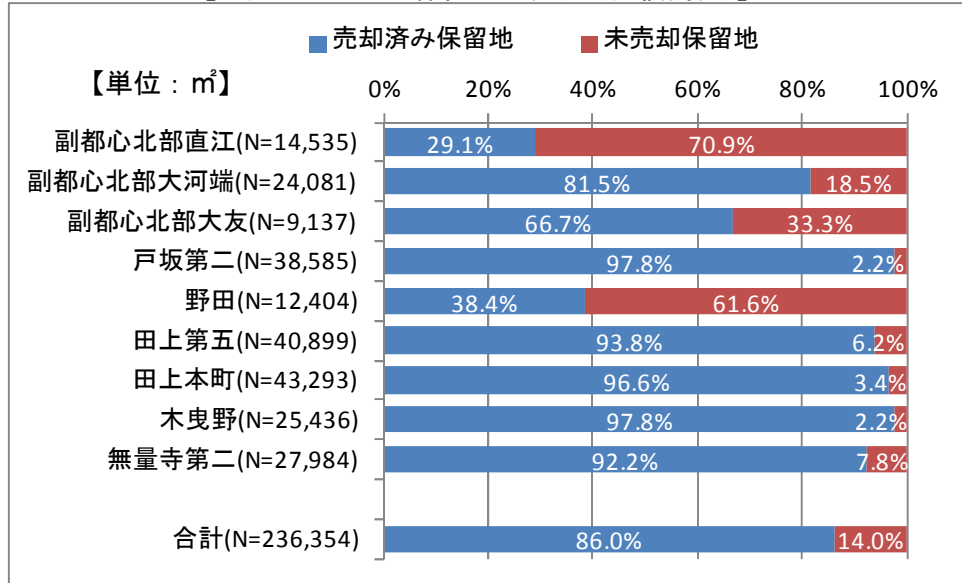


出典：金沢市資料（H25. 4）

<面積割合>

- ・保留地の状況（面積）は全体の 86.0%が売却済みとなっています。地区別で見ると「副都心北部直江」が約 7 割、「野田」が約 6 割未売却となっています。

【区画整理地区の保留地の状況（面積割合）】

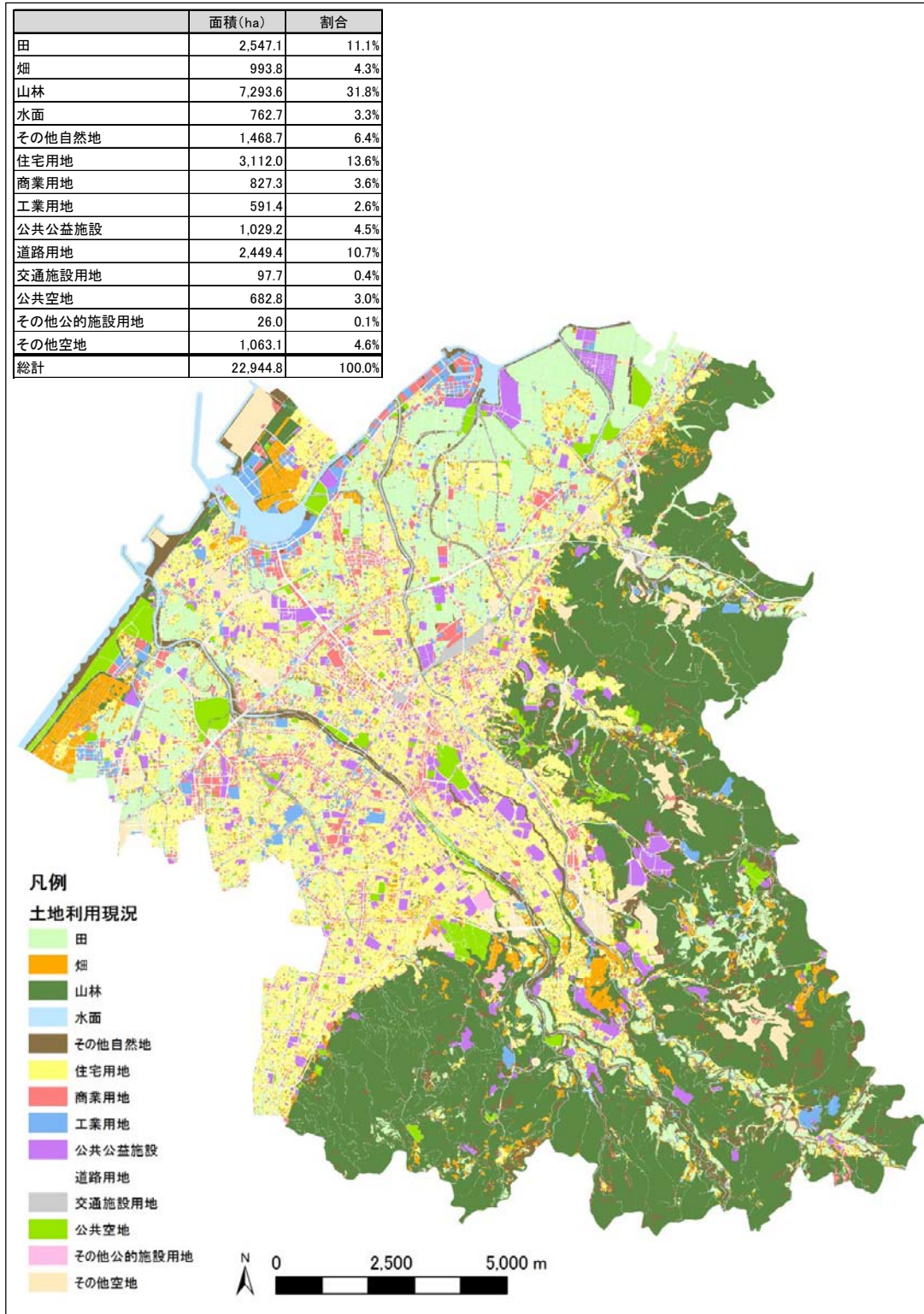


出典：金沢市資料（H25. 4）

③土地利用現況

- ・都市計画区域内の土地利用現況は、「山林」が最も多く 31.8%を占め、次いで「住宅用地」が 13.6%、「田」が 11.1%となっています。

【土地利用現況面積（都市計画区域内）】



出典：金沢市都市計画基礎調査（H18）

3. 市民等の意向の把握

(1) 市民意向調査(アンケート調査)の目的と概要

①目的

住宅・住生活に関わる各種施策を講じる際の基礎資料とするため、居住意向や居住環境の現状評価等を把握することを目的として、本市に在住する方を対象としてアンケート調査を行いました。

②調査の概要

調査期間：平成 25 年 9 月 9 日(月)～平成 25 年 9 月 27 日(金)

調査対象：18 歳以上の市民 1,800 人*

※まちなか区域 900 人、まちなか区域以外 900 人

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送による配布回収

③配布・回収結果

	合計	まちなか区域	まちなか区域 以外	無回答
配布	1,800	900	900	—
回収	821	452	326	43
回収率	45.6%	50.2%	36.2%	—

(2) 調査結果の概要

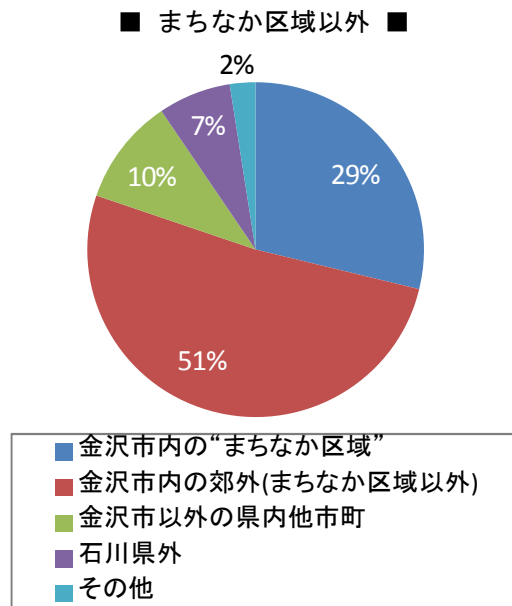
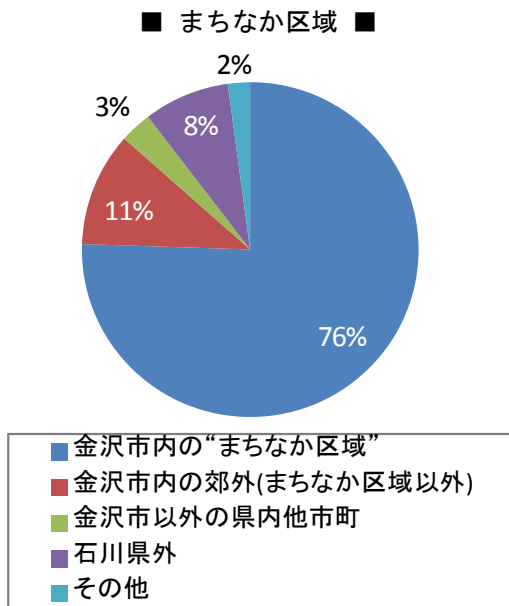
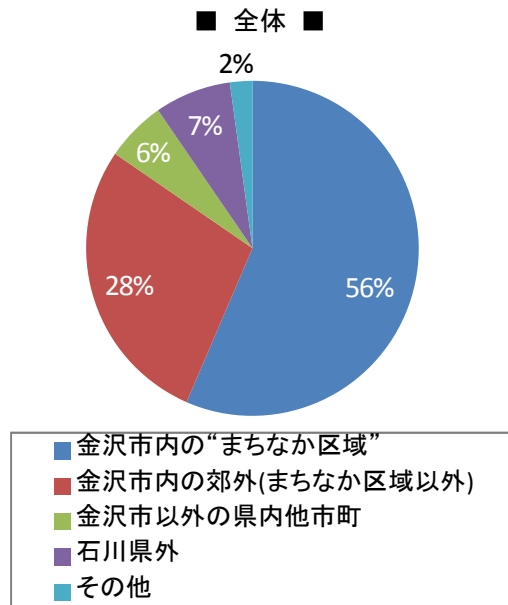
①あなたが、転居・転出をするとした場合、どこで生活したいと思いますか。

【単一回答】

全体では、「まちなか区域」(56%)、「まちなか区域以外」(28%)、「石川県外」(7%)の順となっています。

“まちなか区域”では、「まちなか区域」が76%と大半を占めています。

一方、“まちなか区域以外”では1位と2位が逆転して、「まちなか区域以外」が最も多く51%と約半数を占めています。

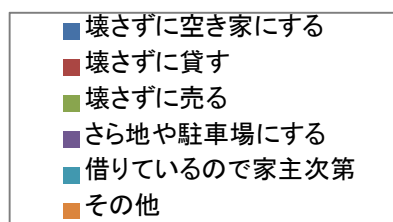
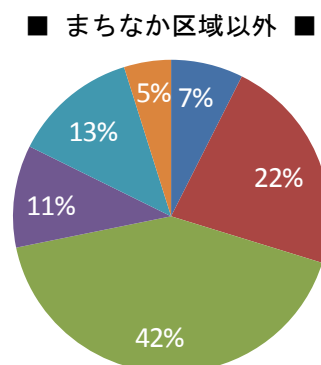
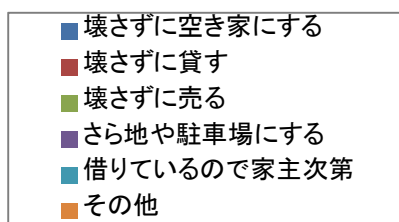
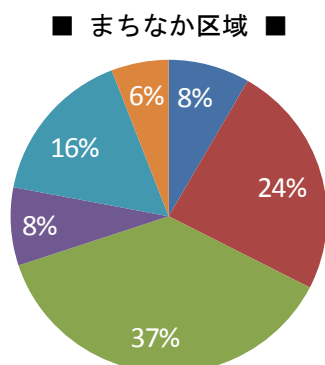
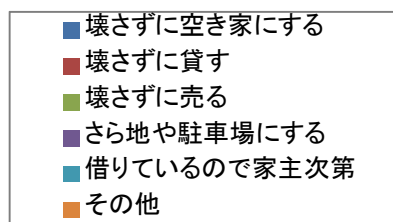
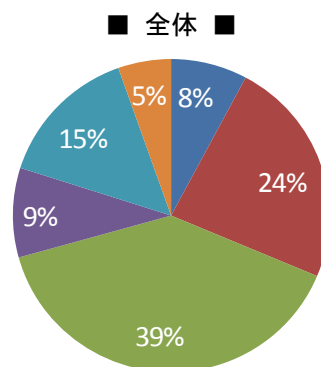


※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合があります。

②あなたが、転居・転出などにより、現在の住宅を引き払うとした場合、現在の住宅をどのように扱いたいと思いますか。【単一回答】

全体では、「壊さずに売る」(39%)、「壊さずに貸す」(24%)、「借りているので家主次第」(15%)となっています。

“まちなか区域”および“まちなか区域以外”も全体とほぼ同様の結果となっていますが、“まちなか区域以外”では「壊さずに売る」(42%)が比較的多くなっています。



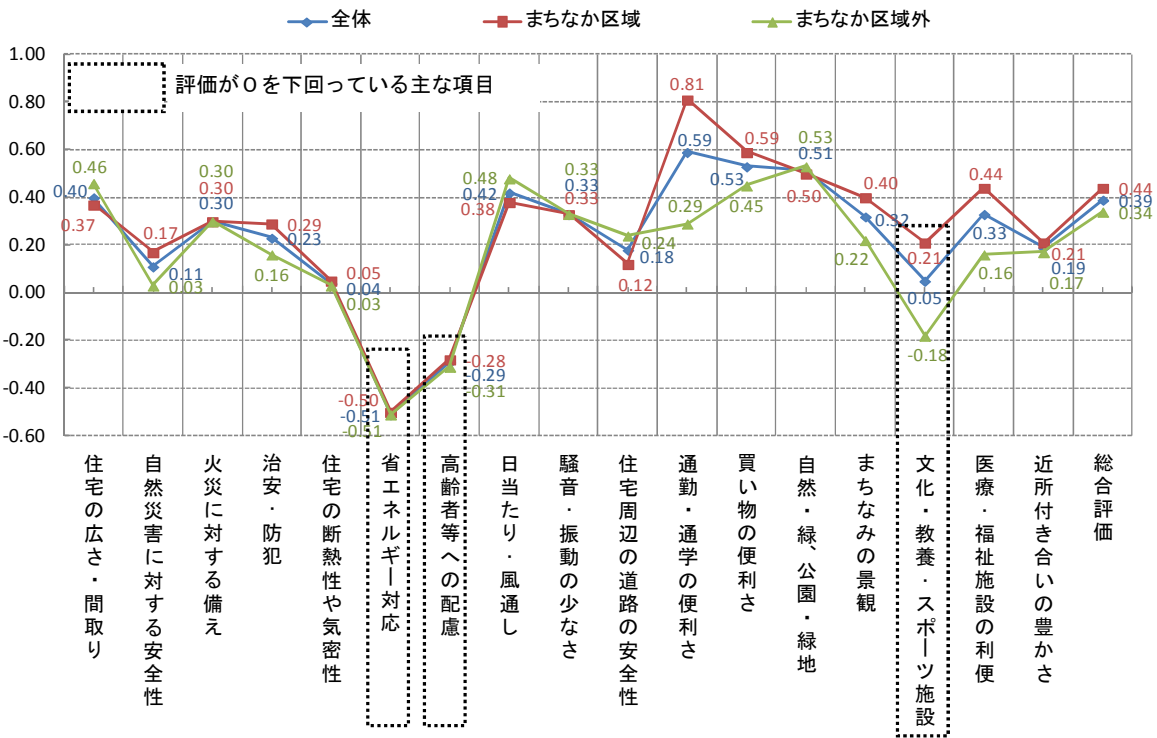
※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合があります。

③現在のお住まいや周辺的环境について、どのように思っていますか。

“まちなか区域”では、「通勤・通学の便利さ」(0.81)、「買い物の便利さ」(0.59)、「医療・福祉施設の利便」(0.44)に対する評価が高く、一方「省エネルギー対応」(-0.50)、「高齢者等への配慮」(-0.28)に対する評価が低くなっています。

“まちなか区域以外”では、「自然・緑、公園・緑地」(0.53)、「日当たり・風通し」(0.48)、「住宅の広さ・間取り」(0.46)に対する評価が高く、一方「省エネルギー対応」(-0.51)、「高齢者等への配慮」(-0.31)、「文化・教養・スポーツ施設」(-0.18)に対する評価が低くなっています。

“まちなか区域”と“まちなか区域以外”の項目毎のポイント差をみると、「通勤・通学の便利さ」(0.52)、「文化・教養・スポーツ施設の利便」(0.39)、「医療・福祉施設の利便」(0.28)において比較的差が生じており、いずれも“まちなか区域”の評価が高くなっています。



※満足：+2点、ほぼ満足：+1点、わからない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とした加重平均値を用いて評価を計測しています(0を上回ると概ね満足、0を下回ると不満の声が多いものと判断できます)。

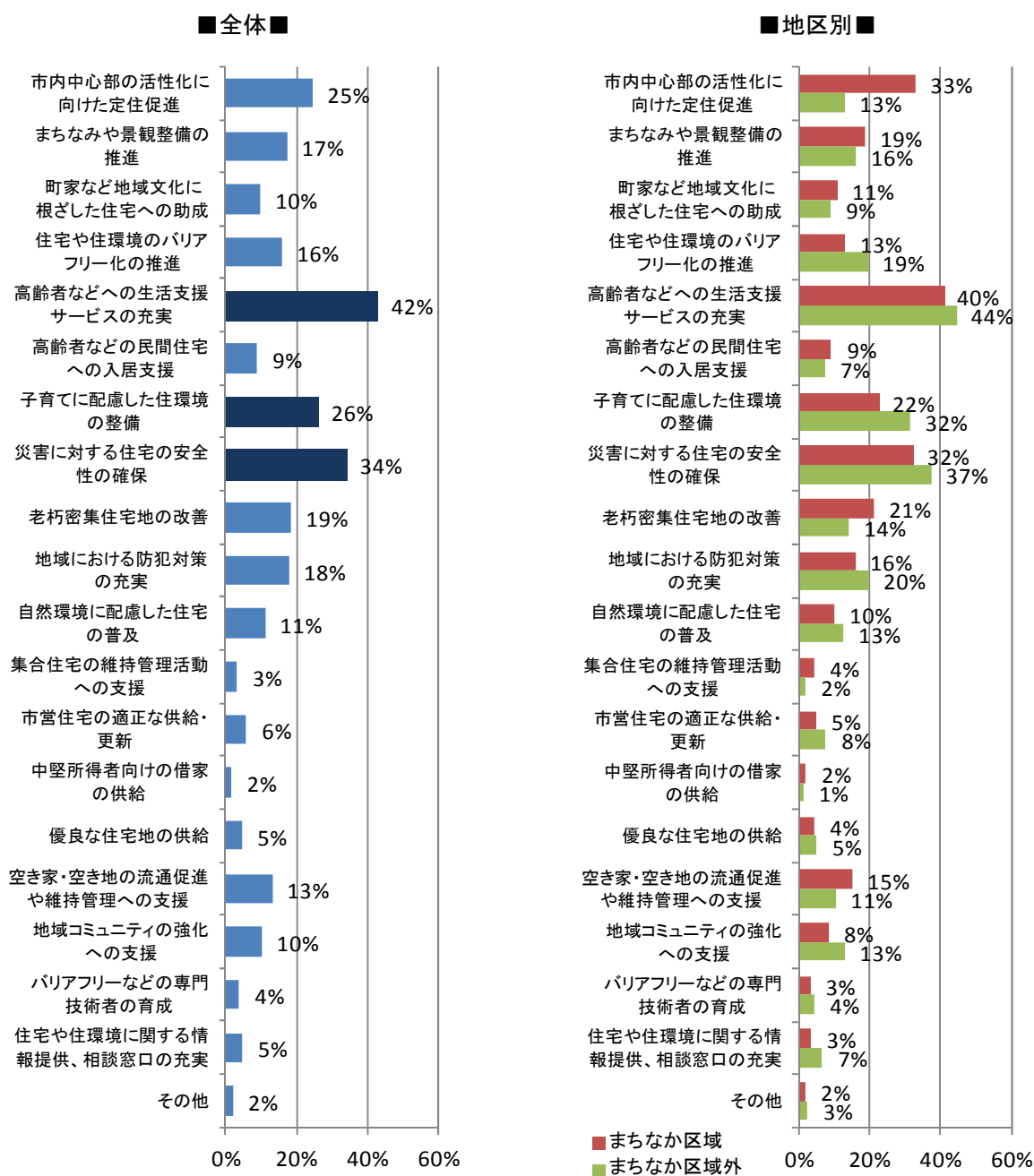
④今後、金沢市はどのような住宅政策に特に力を入れるべきだと良いと思いますか。

【複数回答可】

全体では、「高齢者などへの生活支援サービスの充実」(42%)、「災害に対する住宅の安全性の確保」(34%)、「子育てに配慮した住環境の整備」(26%)の順となっています。

“まちなか区域”では2位に「市内中心部の活性化に向けた定住促進」(33%)があがっています。

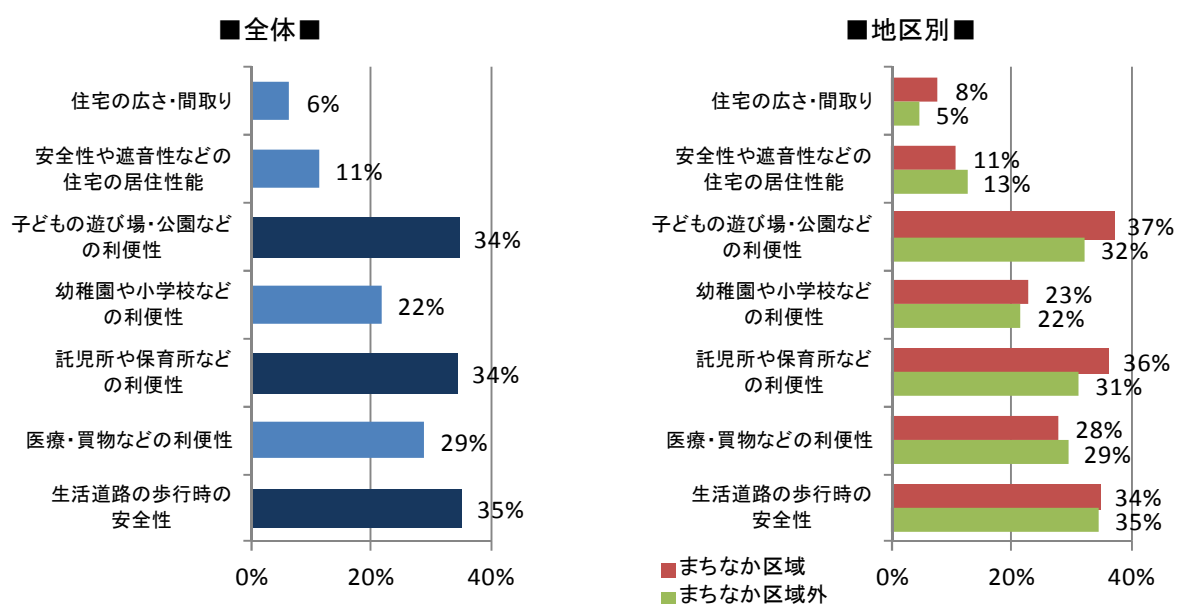
また、“まちなか区域以外”では、全体と同じ順になっています。



⑤あなたは、子育て中の世帯にとって、住宅や住環境のどのようなことが最も重要だと思いますか。【複数回答可】

全体では、「生活道路の歩行時の安全性」(35%)、「子どもの遊び場・公園などの利便性」(34%)、「託児所や保育所などの利便性」(34%)となっています。

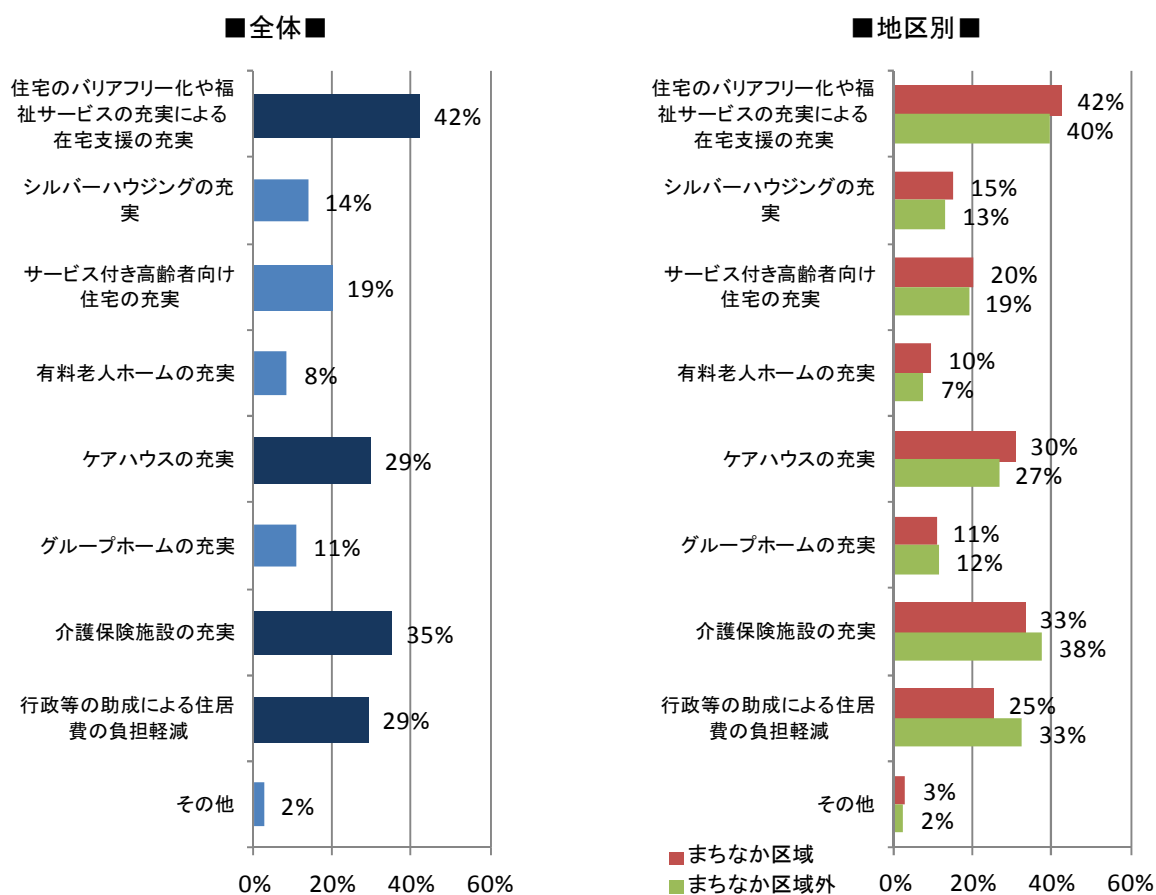
“まちなか区域”および“まちなか区域以外”ともに、全体とほぼ同様の結果となっています。



⑥あなたは、高齢化が進む社会において、“住まい”に対する支援などとしてどのようなことが最も重要だと思いますか。【複数回答可】

全体では、「住宅のバリアフリー化や福祉サービスの充実による在宅支援の充実」(42%)、「介護保険施設（特別養護老人ホームや老人保健施設等）の充実」(35%)、「ケアハウス（身体機能の低下等で独り暮らしが不安な高齢者向け住宅）の充実」(29%)、「行政等の助成による住居費(改修費や家賃)の負担軽減」(29%)となっています。

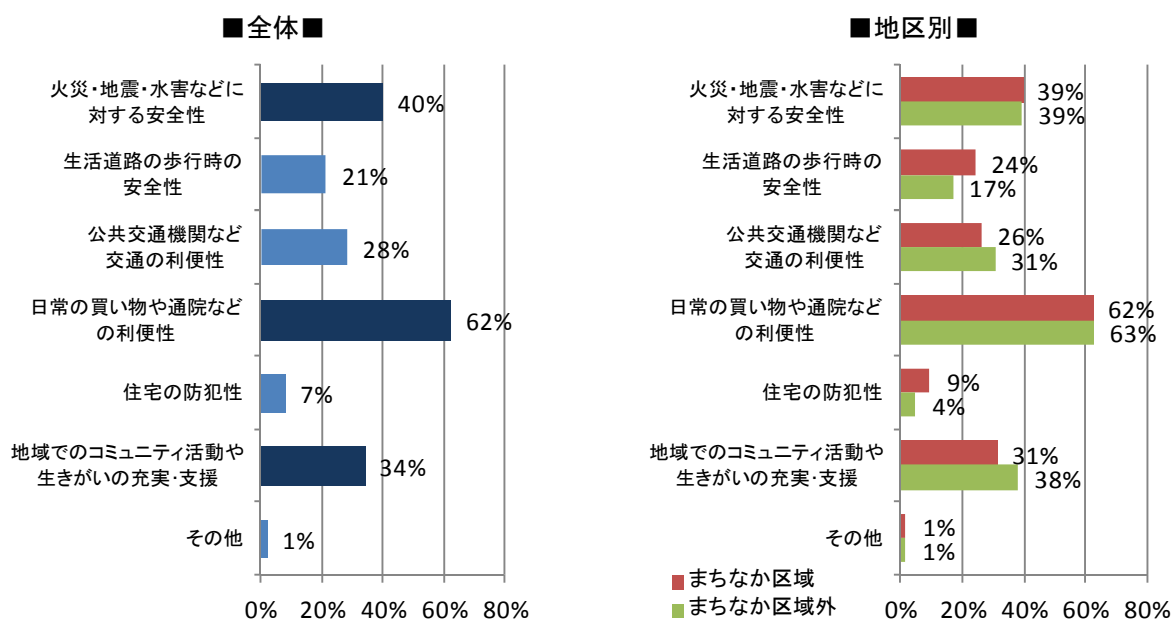
“まちなか区域”では3位に「ケアハウス（身体機能の低下等で独り暮らしが不安な高齢者向け住宅）の充実」(30%)、“まちなか区域外”では3位に「行政の助成による住居費(改修費や家賃)の負担軽減」(33%)があがっています。



⑦あなたは、高齢化が進む社会において、“住環境”の整備などとしてどのようなことが最も重要だと思いますか。【複数回答可】

全体では、「日常の買い物や通院などの利便性」(62%)、「火災・地震・水害などに対する安全性」(40%)、「地域でのコミュニティ活動や生きがいの充実・支援」(34%)の順となっています。

“まちなか区域”および“まちなか区域以外”も全体とほぼ同様の結果となっています。



(3) 転出者意向調査(アンケート調査)の目的と概要

①目的

これまでに金沢市に在住し、近隣市町(野々市市・内灘町・津幡町)に転出した方の住まい・まちづくりに対する考えや意見等を把握し、金沢市住生活基本計画策定の基礎的資料とすることを目的としてアンケート調査を行いました。

②調査の概要

調査期間：平成25年9月9日(月)～平成25年9月27日(金)

調査対象：平成20年～24年にかけて、金沢市から「野々市市・内灘町・津幡町」に転出された20歳～45歳未満の300人

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送による配布回収

③配布・回収結果

配布数：300通

回収数：61通(回収率：20.3%)

(4) 調査結果の概要

① 転出前後の世帯人員について教えてください。【単一回答】

世帯人数は、転出前後で「変化なし」(25件、42%)が多いものの、「1人(独り暮らし)」から「2人」(6件、10%)や「2人」から「3人」(4件、7%)などの変化もみられます。

■ 転出前後の世帯人数の変化 ■

世帯人数		転出後						合計
		1人 (独り暮らし)	2人	3人	4人	5人	6人以上	
転出前	1人(独り暮らし)	8	6	1	1	-	1	17
	2人	2	5	4	1	1	-	13
	3人	1	3	9	2	1	-	16
	4人	-	2	1	3	1	1	8
	5人	-	1	1	-	-	-	2
	6人以上	-	1	-	1	1	-	3
	合計	11	18	16	8	4	2	59

② 転出前後の家族構成について教えてください。【単一回答】

家族構成は、転出前後で「変化なし」(29件、48%)が多いものの、「単身世帯」から「夫婦のみ」(5件、8%)や「親と子ども」から「夫婦と子ども」(4件、7%)などの変化もみられます。

■ 転出前後の家族構成の変化 ■

家族構成		転出後						合計	
		単身世帯	夫婦のみ	夫婦と子ども	親と子ども	夫婦と親	夫婦と子どもと親		その他
転出前	単身世帯	8	5	2	1	-	-	1	17
	夫婦のみ	-	5	1	-	2	-	-	8
	夫婦と子ども	-	1	12	-	-	-	-	13
	親と子ども	2	3	4	2	-	1	-	12
	夫婦と親	-	1	-	-	-	-	-	1
	夫婦と子どもと親	-	1	1	-	-	1	-	3
	その他	1	1	3	-	-	-	1	6
	合計	11	17	23	3	2	2	2	60

③転出前後の住宅の所有形態について教えてください。【単一回答】

住宅の所有形態は、転出前後で「変化なし」(22件、36%)が多いものの、「民間アパート」から“持ち家(戸建て)”(15件、25%)や“持ち家(戸建て)”から“民間アパート”(9件、15%)などの変化もみられます。

■ 転出前後の住宅の所有形態の変化 ■

		転出後							合計
		持ち家 (戸建て)	持ち家 (マンション)	民営借家 (戸建て)	民間 アパート	公営住宅 (県営市営等)	給与住宅 (社宅・官舎等)	その他	
転出前	持ち家 (戸建て)	7	2	-	9	-	-	-	18
	持ち家 (マンション)	1	-	-	1	-	-	1	3
	民営借家 (戸建て)	3	-	1	-	-	-	-	4
	民間アパート	15	1	1	12	-	1	-	30
	公営住宅 (県営市営など)	-	-	-	1	1	-	-	2
	給与住宅 (社宅・官舎など)	3	-	-	-	-	1	-	4
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	29	3	2	23	1	2	1	61

④転出前後のお住まいの“のべ床面積”について教えてください。【単一回答】

“のべ床面積”は、“面積拡大”が18件(31%)、“面積縮小”が7件(12%)、“変化なし”が7件(12%)となっています。

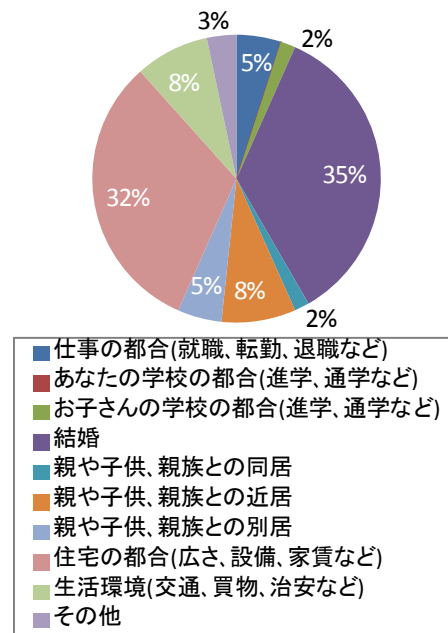
■ 転出前後の面積の変化 ■

		転出後								合計	
		40㎡未満 (12坪未満)	40~54㎡ (12~16坪)	55~74㎡ (17~22坪)	75~99㎡ (23~30坪)	100~124㎡ (30~38坪)	125~149㎡ (38~45坪)	150~199㎡ (45~60坪)	200㎡以上 (61坪以上)		わからない
転出前	40㎡未満 (12坪未満)	3	2	-	1	1	-	2	1	1	11
	40~54㎡ (12~16坪)	1	2	-	-	3	-	1	-	-	7
	55~74㎡ (17~22坪)	-	-	-	1	2	1	1	-	-	5
	75~99㎡ (23~30坪)	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2
	100~124㎡ (30~38坪)	-	-	-	-	2	-	-	-	1	3
	125~149㎡ (38~45坪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	150~199㎡ (45~60坪)	-	1	-	1	1	1	-	-	-	4
	200㎡以上 (61坪以上)	1	1	-	-	-	-	-	-	1	3
	わからない	-	1	-	1	4	3	-	1	13	23
	合計	5	7	-	4	13	6	4	3	16	58

※赤枠内は面積が増加、青枠内は面積が減少

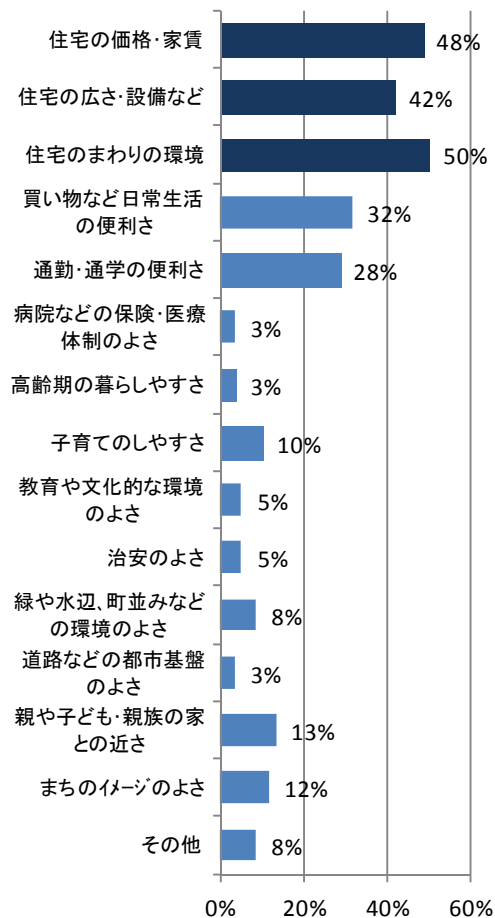
⑤あなたが転出することとなった最も大きなきっかけは何ですか。【単一回答】

転出する際のきっかけは「結婚」(35%)、「住宅の都合(広さ、設備、家賃など)」(32%)が多くなっています。



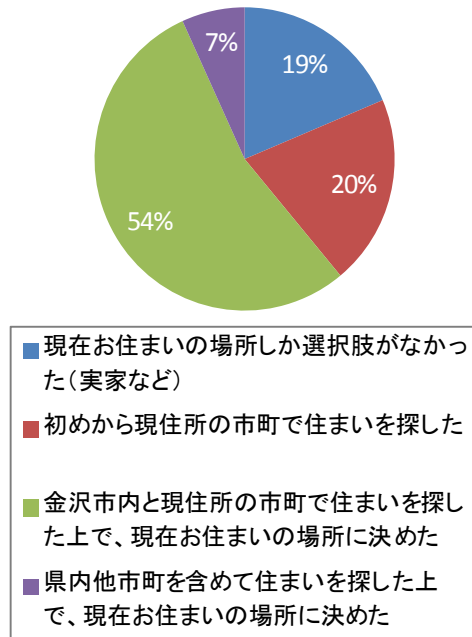
⑥あなたが現在の住まいを決めるにあたって重視した条件は何ですか。【複数回答可】

住まいを決定する際に重視した条件では、「住宅のまわりの環境」(50%)、「住宅の価格・家賃」(48%)、「住宅の広さ・設備など」(42%)のほか、「買い物など日常生活の便利さ」(32%)、「通勤・通学の便利さ」(28%)の意見が多くなっています。



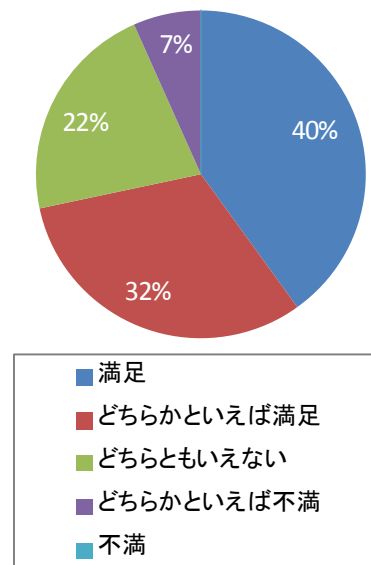
⑦あなたは転出するにあたって、金沢市内でも住まいを探されましたか。【単一回答】

転出先の検討では、「金沢市内と現住所の市町で住まいを探した上で、現在お住まいの場所を決めた」(54%)、「初めから現住所の市町で住まいを探した」(20%)、「現在お住まいの場所しか選択肢がなかった(実家など)」(19%)の順になっています。



⑧あなたは金沢市にお住まいになって、満足でしたか。【単一回答】

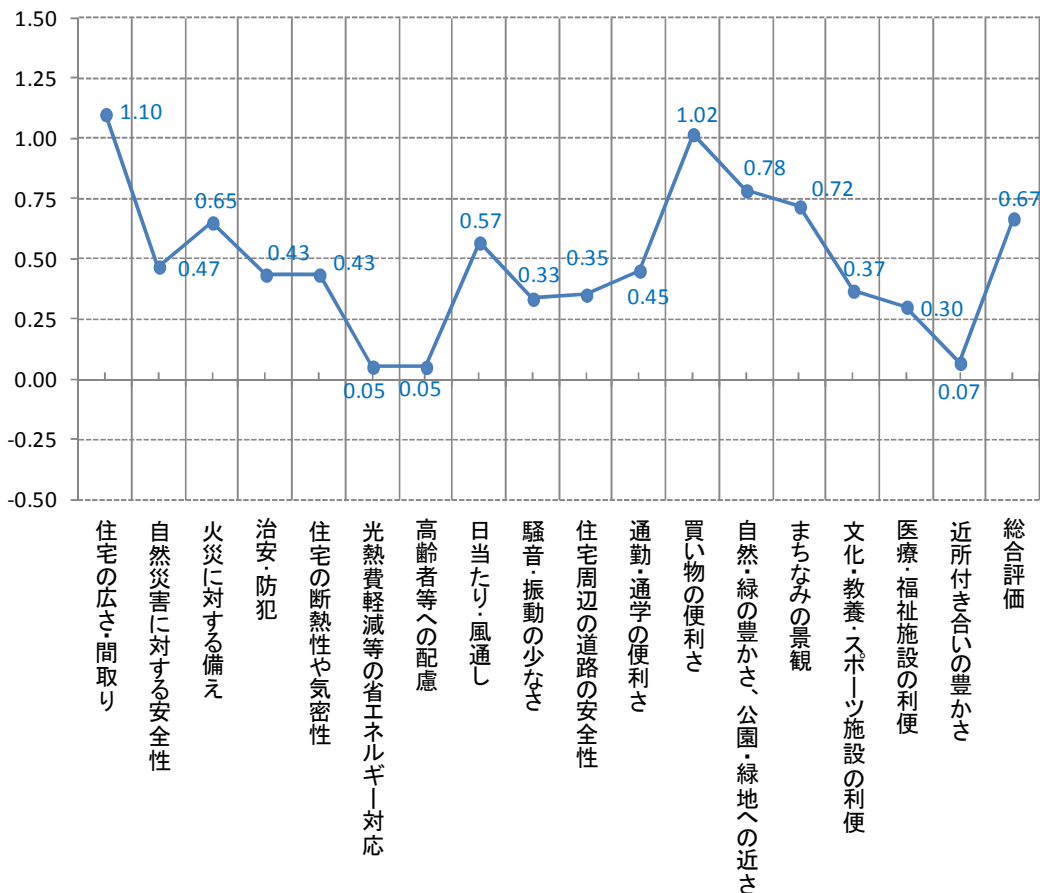
転出前の金沢市の住まいについては、「満足」(40%)、「どちらかといえば満足」(32%)を合わせ、大半の方が満足としています。



※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合があります。

⑨現在のお住まいや周辺的环境について、どのように思っていますか。

転出先での住まいや周辺的环境についての満足度は、「住宅の広さ・間取り」(1.10)、「買い物の便利さ」(1.02)、「自然・緑の豊かさ、公園・緑地への近さ」(0.78)などに対する評価が高く、一方「光熱費軽減等の省エネルギー対応」(0.05)、「高齢者等への配慮」(0.05)、「近所付き合いの豊かさ」(0.07)に対する評価が低くなっています。



※満足：+2点、ほぼ満足：+1点、わからない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とした加重平均値を用いて評価を計測しています(0を上回ると概ね満足、0を下回ると不満の声が多いものと判断できます)。